

医学科教育学修プログラム

令和7年度前期

2年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

高度 Advanced	A	B
応用 Applied	C	D
基礎 Basic	E	F

	1-3年								2年																
	入門科目	教養主題科目	教養基幹科目	教養基幹科目	外国語科目	健康スポーツ科学実技	基礎薬理学	基礎消化器学	基礎循環器学	基礎呼吸器学	基礎泌尿器学	基礎生殖生理学	基礎感覚器学	基礎神経学	基礎内分泌・代謝学	基礎血液学	解剖学実習	基礎感染症学・実習	基礎医学実習	病理学総論	社会環境医学	基礎医学特論（Ⅰ）	基礎医学特論（Ⅱ）	画像診断入門	
科目名	大学入門ガイダンス／キャリア入門	基礎心理学、倫理教育、社会福祉、芸術科学など	人文社会科学概論（経済・心理・哲学・政治学等）	基礎分野（英語・数学・物理・化学・生物・地学・天文学など）	基礎医療言語コミュニケーション能力強化プログラム（英語・日本語・第二外国語など）	コンピュータリテラシー向上プログラム（情報活用能力、基礎的なITスキルなど）																			
単位	3	14	9	6	8	1	1	1	2	1	1.5		1.5	2		1.5	3.5	6	1.5	2	2		0.5	0.5	

責任ある医療を実践するための倫理観を持ち、それに基づいて行動できる。
患者の利益を重視する患者中心の医療を修得し、実践できる。
生涯にわたり自己研鑽して高い医療水準と誠実さを持ち続けるために、内発的動機による自己学習能力を持ち、応用できる。

コミュニケーション

[illegible]

【チーム医療】

[illegible][illegible]

最新の基礎科学、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を修得して、応用できる。
医療安全の基礎を学び、予防と対策を講じることができる。

診療の実際

[illegible]

常に知的探究心を持ち、基礎と臨床の連携で潤養されるリサーチマインドを身につけるとともに、実践的に医学研究に活用できる。

医学・科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、重要性を理解できる。	C	C	D	C	E	F	F	E	E	E	E	E	E	D	C	E	E	E	C	C	C	C	C	D
歴史的・科学的に意義のある研究課題を提出し、研究に取り組むことができる。	E	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	D	D	C	D	D	E	D	C	E	E	E	D

【国際性】

[illegible][illegible]

【 地 球 圖 像 】

医学科2年次目次（前期）

区分	授業科目名	科目責任者
選択 主題	日本の文化と心	森田明美 : 1年次シラバス参照
選択 主題	日本のポップカルチャー	尾崎加苗 : 1年次シラバス参照
選択 基幹（人文・社会）	英文学	和田綾子 : 1年次シラバス参照
必修 基幹（人文・社会）	生命倫理学	尾崎米厚 : 1 ～ 7
選択 基幹（人文・社会）	経営学入門	遠藤彰 : 8 ～ 11
必修 外国語	医療英語Ⅰ	ウィルシャー : 12 ～ 14
必修 外国語	医療英語Ⅰ	戸野康恵 : 15 ～ 17
必修 外国語	医療英語Ⅰ	ジアディーン : 18 ～ 20
必修 専門科目	基礎薬理学	今村武史 : 21 ～ 23
必修 専門科目	基礎消化器学	中曽一裕 : 24 ～ 27
必修 専門科目	基礎循環器学	海藤俊行 : 28 ～ 33
必修 専門科目	基礎呼吸器学	松尾 聡 : 34 ～ 37
必修 専門科目	【基礎泌尿器・生殖器学】	
必修 専門科目	基礎泌尿器学	松尾 聡 : 38 ～ 40
必修 専門科目	基礎生殖器学	濱崎佐和子 : 41 ～ 44
必修 専門科目	基礎感覚器学	海藤俊行 : 45 ～ 49
必修 専門科目	基礎神経学	椋田崇生 : 50 ～ 57
必修 専門科目	【基礎内分泌・代謝・血液学】	
必修 専門科目	基礎内分泌・代謝学	檜山武史 : 58 ～ 61
必修 専門科目	基礎血液学	中留真人 : 62 ～ 65
必修 専門科目	基礎医学実習	中曽一裕 : 66 ～ 74
必修 専門科目	解剖学実習（通年）	海藤俊行 : 75 ～ 82

※選択科目：選択、選択必修科目：選必、必修科目：必修は令和6年度入学者を基準としています。

※医療英語は、クラス分けを発表しますので、確認ください。

※主題、基幹（人文・社会）から3年次前期終了までに14単位以上修得してください。

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	AR900300	ナンバリング /Subject Code	LAETH1003
科目名 /Subject Name	生命倫理学		
英文科目名 /Subject English Name	Bioethics		
担当教員 /Teacher Name	尾崎 米厚,森田 明美,天野 宏紀,金城 文,高橋 洋一,増本 年男,桑原 祐樹,金 弘子		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	全学共通科目
曜日・時限 /Week・Hour	木 3, 木 4	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form	一般講義	単位数 /Lecture Form	2.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹(環境予防医学、総合研究棟6階) 森田 明美、天野 宏紀、増本 年男(健康政策医学、総合研究棟6階) 高橋 洋一(医学教育学、総合教育棟3階)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	尾崎 米厚(4・5月:火曜日午前、6・7月:木曜日午前)、森田 明美(水曜日・木曜日17:00～18:00)、天野 宏紀(4・5月:火曜日午前、6・7月:木曜日午前)、金城 文(4・5月:火曜日午前、6・7月:木曜日午前)、高橋 洋一(金曜日3時限)、増本 年男(4・5月:火曜日午前、6・7月:木曜日午前)、桑原 祐樹(4・5月:火曜日午前、6・7月:木曜日午前)		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	担当教員が所属する研究室の電話番号は以下となります。 環境予防医学分野(0859-38-6103)、健康政策医学(0859-38-6113)、医学教育学(0859-38-6438) 各学生が割り振られたディベート班の指導教員から、班活動の初日に通知されます。		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	生命倫理学は、医学や生物学の進歩によって生じるさまざまな倫理的ジレンマや問題を探求し、解決策を模索する学問です。将来医師となる学生が生命倫理学を学ぶ目的は、医学・医療と倫理の交わる領域において遭遇する複雑な問題に対処するための知識や理解を深めることです。中絶や安楽死といった命の境界に関する問題、代理出産や医療資源の配分などの公衆衛生倫理に関する問題、クローニングや遺伝子治療などのバイオテクノロジーの進歩によって生じる問題に至るまで、様々な医療に関わる倫理的ジレンマがあります。 本科目では、1～3回目講義で生命倫理学の知識を学び、4回目講義で生命倫理課題に関するディベートの実施方法を学び、5～12回目講義は少人数のグループに分かれ担当教員の指導の下、与えられた課題の立場(賛成か反対か)に沿ったディベートを行う準備をし、13～15回目講義でディベートを行います。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	生命倫理、医療倫理、インフォームドコンセント、公衆衛生倫理、ディベート		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	・生命倫理の基本理念を説明できる。 ・医療の倫理の原則を説明できる。 ・医学・医療と関わる倫理的課題について、様々な立場から討議できる。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	当科目は他の全ての科目の基礎となる科目です。公衆衛生分野においては、当科目で習得した知識と理解が、社会環境医学(医学科2年次)、社会医学チュートリアル実習(医学科4年次)の基礎となります。		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	① 生命倫理と医療倫理 第4版 金芳堂 ISBN978-4-7653-1816-7 2020年03月 刊行 ② 公衆衛生の倫理学 ―国家は健康にどこまで介入すべきか 玉手 慎太郎 著 筑摩書房 ISBN:978-4-480-01762-8 2022年12月 刊行 教員が資料を配布する。 ディベート準備では、学生自ら、図書館や文献検索サイトを利用して文献を調べます。		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義(26%)、グループ学習形式(53%)、ディベート発表会(20%)		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	定期試験(50%)、実習(出席、態度、活動内容)50%	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	本授業の5回目講義以降は、各学生は一つのディベートテーマの班に所属しグループディスカッションを重ね、医学的、法的、国際的、公衆衛生的根拠をもとにディベート準備を行い、立論プレゼンテーションの作成、反駁および反駁への回答も準備します。4回目までの講義で得た知識を元に、活発なグループディスカッションによる準備を行い、ディベート発表会当日は、白熱したディベートを期待しています。なお、ディベート発表会当日は終了時刻が18時頃になります。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	教員が臨床、公衆衛生活動で経験した事例や社会問題を参考にディベートテーマを作成している。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[4/3 (木)1時限] 【122講義室】	医の倫理と生命倫理／【キーワード】生命倫理学、生命哲学、ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言、患者の権利章典、医師の義務と裁量権	復習：メディアの記事等で医の倫理に関する記述を読んで疑問点を整理しておく、復習：医の倫理に関する基本原則、考え方を説明できるようにする。医の倫理に関する報道に接した際、自分ならどうするか考えてみる。	【担当者】環境予防医学・尾崎 米厚／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習)）
2[4/3 (木)2時限] 【122講義室】	インフォームド・コンセント／【キーワード】インフォームド・チョイス、自己決定権、プライバシー、ニュルンベルク綱領、ジョグジャカルタ原則、医療法、説明と同意、納得診療	インフォームド・コンセントの定義や必要性、意義について調べ学習を行う	【担当者】医学教育学・高橋 洋一／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)）
3[4/10 (木)3時限] 【131講義室】	インフォームド・コンセント／【キーワード】個人情報保護、情報開示、代理同意、精神疾患、救急患者、判例、説明義務違反	インフォームド・コンセント取得にかかる課題や例外について整理して、まとめておく	【担当者】医学教育学・高橋 洋一／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)）
4[4/10 (木)4時限] 【131講義室】	ディベート準備の進め方／【キーワード】生命倫理、医療倫理のトピックス、ディベート、リンクマップ、文献検索、プレゼンテーション手法	ディベート方法について確認をおこないディベート準備の計画をたてる	【担当者】環境予防医学・金城 文／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習)）
5[4/17 (木)3時限] 【ETU2-3~8, 3-1~13,4-3~7講義室】	ディベート／【キーワード】生殖医療、出生前診断、人工妊娠中絶、代理出産、不妊治療、卵子の保存、卵子核の人工的操作、終末期医療と安楽死・尊厳死、臓器移植、難病の遺伝学的発症前診断、遺伝子治療、治療的クローニング、再生医療(iPS細胞、ES細胞等)、脳機能エンハンスメント、脳死、QOL、臨床倫理、診療拒否、意識混濁患者のリビングウィル、胃ろう、人工透析、ALS閉じ込め症候群、がん告知、HIVパートナー告知、予防的乳房切除術、認知症患者の運転免許返納、民間療法・代替医療、遺伝子組み換え食品、がん登録義務化、がん検診法制化、自然災害時の入院患者置き去り、生活習慣病の保険外診療、医療政策、健康ゴールド免許、医療ツーリズム、生活保護のジェネリック医薬品、混合診療、医師の移民政策、室内全面禁煙の義務化等 最新の生命倫理の課題、臨床倫理の課題、医療政策の課題について 賛成派、反対派にわかれ、グループディスカッションを重ね、医学的、法的、国際的、公衆衛生的根拠をもとにディベート準備を行い、立論プレゼンテーションを作成する。反駁および反駁への回答も準備する。	指導教員から提示されたテーマについて調べ、立論に必要な資料の収集を行う	【担当者】健康政策医学・森田 明美・天野 宏紀・増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚・金城 文・桑原 祐樹／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習)）

6[4/17(木)4時限] 【ETU2-3~8, 3-1~13,4-3~7講義室】	ディベート／【キーワード】生殖医療、出生前診断、人工妊娠中絶、代理出産、不妊治療、卵子の保存、卵子核の人工的操作、終末期医療と安楽死・尊厳死、臓器移植、難病の遺伝学的発症前診断、遺伝子治療、治療的クローニング、再生医療(iPS細胞、ES細胞等)、脳機能エンハンスメント、脳死、QOL、臨床倫理、診療拒否、意識混濁患者のリビングウィル、胃ろう、人工透析、ALS閉じ込め症候群、がん告知、HIVパートナー告知、予防的乳房切除術、認知症患者の運転免許返納、民間療法・代替医療、遺伝子組み換え食品、がん登録義務化、がん検診法制度化、自然災害時の入院患者置き去り、生活習慣病の保険外診療、医療政策、健康ゴールド免許、医療ツーリズム、生活保護のジェネリック医薬品、混合診療、医師の移民政策、室内全面禁煙の義務化等 最新の生命倫理の課題、臨床倫理の課題、医療政策の課題について 賛成派、反対派にわかれ、グループディスカッションを重ね、医学的、法的、国際的、公衆衛生学的根拠をもとにディベート準備を行い、立論プレゼンテーションを作成する。反駁および反駁への回答も準備する。	指導教員から提示されたテーマについて調べ、立論に必要な資料の収集を行う	【担当者】健康政策医学・森田 明美・天野 宏紀・増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚・金城 文・桑原 祐樹／(対面可:対面、対面不可:ハターン3遠隔(リアルタイム学習))
7[4/24(木)3時限] 【ETU2-3~8, 3-1~13,4-3~7講義室】	ディベート／【キーワード】生殖医療、出生前診断、人工妊娠中絶、代理出産、不妊治療、卵子の保存、卵子核の人工的操作、終末期医療と安楽死・尊厳死、臓器移植、難病の遺伝学的発症前診断、遺伝子治療、治療的クローニング、再生医療(iPS細胞、ES細胞等)、脳機能エンハンスメント、脳死、QOL、臨床倫理、診療拒否、意識混濁患者のリビングウィル、胃ろう、人工透析、ALS閉じ込め症候群、がん告知、HIVパートナー告知、予防的乳房切除術、認知症患者の運転免許返納、民間療法・代替医療、遺伝子組み換え食品、がん登録義務化、がん検診法制度化、自然災害時の入院患者置き去り、生活習慣病の保険外診療、医療政策、健康ゴールド免許、医療ツーリズム、生活保護のジェネリック医薬品、混合診療、医師の移民政策、室内全面禁煙の義務化等 最新の生命倫理の課題、臨床倫理の課題、医療政策の課題について 賛成派、反対派にわかれ、グループディスカッションを重ね、医学的、法的、国際的、公衆衛生学的根拠をもとにディベート準備を行い、立論プレゼンテーションを作成する。反駁および反駁への回答も準備する。	指導教員から提示されたテーマについて調べ、立論に必要な資料の収集を行う	【担当者】健康政策医学・森田 明美・天野 宏紀・増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚・金城 文・桑原 祐樹／(対面可:対面、対面不可:ハターン3遠隔(リアルタイム学習))

8[4/24 (木)4時限] 【ETU2-3~8, 3-1~13,4-3~7講義室】	ディベート／【キーワード】生殖医療、出生前診断、人工妊娠中絶、代理出産、不妊治療、卵子の保存、卵子核の人工的操作、終末期医療と安楽死・尊厳死、臓器移植、難病の遺伝学的発症前診断、遺伝子治療、治療的クローニング、再生医療(iPS細胞、ES細胞等)、脳機能エンハンスメント、脳死、QOL、臨床倫理、診療拒否、意識混濁患者のリビングウィル、胃ろう、人工透析、ALS閉じ込め症候群、がん告知、HIVパートナー告知、予防的乳房切除術、認知症患者の運転免許返納、民間療法・代替医療、遺伝子組み換え食品、がん登録義務化、がん検診法制度化、自然災害時の入院患者置き去り、生活習慣病の保険外診療、医療政策、健康ゴールド免許、医療ツーリズム、生活保護のジェネリック医薬品、混合診療、医師の移民政策、室内全面禁煙の義務化等 最新の生命倫理の課題、臨床倫理の課題、医療政策の課題について 賛成派、反対派にわかれ、グループディスカッションを重ね、医学的、法的、国際的、公衆衛生学的根拠をもとにディベート準備を行い、立論プレゼンテーションを作成する。反駁および反駁への回答も準備する。	指導教員から提示されたテーマについて調べ、立論に必要な資料の収集を行う	【担当者】健康政策医学・森田 明美・天野 宏紀・増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚・金城 文・桑原祐樹／(対面可:対面、対面不可:ハターン3遠隔(リアルタイム学習))
9[5/1 (木)3時限] 【ETU2-3~8, 3-1~13,4-3~7講義室】	ディベート／【キーワード】生殖医療、出生前診断、人工妊娠中絶、代理出産、不妊治療、卵子の保存、卵子核の人工的操作、終末期医療と安楽死・尊厳死、臓器移植、難病の遺伝学的発症前診断、遺伝子治療、治療的クローニング、再生医療(iPS細胞、ES細胞等)、脳機能エンハンスメント、脳死、QOL、臨床倫理、診療拒否、意識混濁患者のリビングウィル、胃ろう、人工透析、ALS閉じ込め症候群、がん告知、HIVパートナー告知、予防的乳房切除術、認知症患者の運転免許返納、民間療法・代替医療、遺伝子組み換え食品、がん登録義務化、がん検診法制度化、自然災害時の入院患者置き去り、生活習慣病の保険外診療、医療政策、健康ゴールド免許、医療ツーリズム、生活保護のジェネリック医薬品、混合診療、医師の移民政策、室内全面禁煙の義務化等 最新の生命倫理の課題、臨床倫理の課題、医療政策の課題について 賛成派、反対派にわかれ、グループディスカッションを重ね、医学的、法的、国際的、公衆衛生学的根拠をもとにディベート準備を行い、立論プレゼンテーションを作成する。反駁および反駁への回答も準備する。	ディベート、プレゼンテーション準備をおこなう	【担当者】健康政策医学・森田 明美・天野 宏紀・増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚・金城 文・桑原祐樹／(対面可:対面、対面不可:ハターン3遠隔(リアルタイム学習))

10[5/1(木)4時限] 【ETU2-3~8, 3-1~13,4-3~7講義室】	ディベート／【キーワード】生殖医療、出生前診断、人工妊娠中絶、代理出産、不妊治療、卵子の保存、卵子核の人工的操作、終末期医療と安楽死・尊厳死、臓器移植、難病の遺伝学的発症前診断、遺伝子治療、治療的クローニング、再生医療(iPS細胞、ES細胞等)、脳機能エンハンスメント、脳死、QOL、臨床倫理、診療拒否、意識混濁患者のリビングウィル、胃ろう、人工透析、ALS閉じ込め症候群、がん告知、HIVパートナー告知、予防的乳房切除術、認知症患者の運転免許返納、民間療法・代替医療、遺伝子組み換え食品、がん登録義務化、がん検診法制度化、自然災害時の入院患者置き去り、生活習慣病の保険外診療、医療政策、健康ゴールド免許、医療ツーリズム、生活保護のジェネリック医薬品、混合診療、医師の移民政策、室内全面禁煙の義務化等 最新の生命倫理の課題、臨床倫理の課題、医療政策の課題について 賛成派、反対派にわかれ、グループディスカッションを重ね、医学的、法的、国際的、公衆衛生学的根拠をもとにディベート準備を行い、立論プレゼンテーションを作成する。反駁および反駁への回答も準備する。	ディベート、プレゼンテーション準備をおこなう	【担当者】健康政策医学・森田 明美・天野 宏紀・増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚・金城 文・桑原 祐樹／(対面可:対面、対面不可:ハターン3遠隔(リアルタイム学習))
11[5/8(木)3時限] 【ETU2-3~8, 3-1~13,4-3~7講義室】	ディベート／【キーワード】生殖医療、出生前診断、人工妊娠中絶、代理出産、不妊治療、卵子の保存、卵子核の人工的操作、終末期医療と安楽死・尊厳死、臓器移植、難病の遺伝学的発症前診断、遺伝子治療、治療的クローニング、再生医療(iPS細胞、ES細胞等)、脳機能エンハンスメント、脳死、QOL、臨床倫理、診療拒否、意識混濁患者のリビングウィル、胃ろう、人工透析、ALS閉じ込め症候群、がん告知、HIVパートナー告知、予防的乳房切除術、認知症患者の運転免許返納、民間療法・代替医療、遺伝子組み換え食品、がん登録義務化、がん検診法制度化、自然災害時の入院患者置き去り、生活習慣病の保険外診療、医療政策、健康ゴールド免許、医療ツーリズム、生活保護のジェネリック医薬品、混合診療、医師の移民政策、室内全面禁煙の義務化等 最新の生命倫理の課題、臨床倫理の課題、医療政策の課題について 賛成派、反対派にわかれ、グループディスカッションを重ね、医学的、法的、国際的、公衆衛生学的根拠をもとにディベート準備を行い、立論プレゼンテーションを作成する。反駁および反駁への回答も準備する。	ディベート、プレゼンテーションの準備と練習をおこなう	【担当者】健康政策医学・森田 明美・天野 宏紀・増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚・金城 文・桑原 祐樹／(対面可:対面、対面不可:ハターン3遠隔(リアルタイム学習))

12[5/8(木)4時限] 【ETU2-3~8,3-1~13,4-3~7講義室】	ディベート／【キーワード】生殖医療、出生前診断、人工妊娠中絶、代理出産、不妊治療、卵子の保存、卵子核の人工的操作、終末期医療と安楽死・尊厳死、臓器移植、難病の遺伝学的発症前診断、遺伝子治療、治療的クローニング、再生医療(iPS細胞、ES細胞等)、脳機能エンハンスメント、脳死、QOL、臨床倫理、診療拒否、意識混濁患者のリビングウィル、胃ろう、人工透析、ALS閉じ込め症候群、がん告知、HIVパートナー告知、予防的乳房切除術、認知症患者の運転免許返納、民間療法・代替医療、遺伝子組み換え食品、がん登録義務化、がん検診法制度化、自然災害時の入院患者置き去り、生活習慣病の保険外診療、医療政策、健康ゴールド免許、医療ツーリズム、生活保護のジェネリック医薬品、混合診療、医師の移民政策、室内全面禁煙の義務化等 最新の生命倫理の課題、臨床倫理の課題、医療政策の課題について 賛成派、反対派にわかれ、グループディスカッションを重ね、医学的、法的、国際的、公衆衛生学的根拠をもとにディベート準備を行い、立論プレゼンテーションを作成する。反駁および反駁への回答も準備する。	ディベート、プレゼンテーションの準備と練習をおこなう	【担当者】健康政策医学・森田 明美・天野 宏紀・増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚・金城 文・桑原 祐樹／(対面可:対面、対面不可:ハターン3遠隔(リアルタイム学習))
13~15[5/15(木)3,4時限] [5/22(木)3,4時限]【122講義室】	ディベート／【キーワード】各班のディベートのやり取りに参加する中で、生命倫理学の基本原則、重要な考え方、賛否の分かれる論点等を理解し、認識する。	各班のディベートをもとに、生命倫理学の基本原則、重要な考え方、賛否の分かれる論点を整理する	【担当者】健康政策医学・森田 明美・天野 宏紀・増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚・金城 文・桑原 祐樹／(対面可:対面、対面不可:ハターン3遠隔(リアルタイム学習))

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	AR900900	ナンバリング /Subject Code	LAMAG1001-C
科目名 /Subject Name	経営学入門		
英文科目名 /Subject English Name			
担当教員 /Teacher Name	遠藤 彰		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	1,2,3	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	月 2	単位区分 /Week・Hour	選択
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	2.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	遠藤 彰(非常勤講師) 中小企業診断士、国際コーチ連盟プロフェッショナル認定コーチ。株式会社BEANS 代表取締役CEO、一般社団法人鳥取県中小企業診断協会 代表理事会長、株式会社DARAZコミュニティ放送 取締役経営企画室長、株式会社上代 取締役経営企画室長		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	info@office_beans.co.jp担当村田までお問い合わせください また、授業ははじめか授業終わりに捕まえてください		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	0859-24-2584、 株式会社BEANS:090-5706-1819 遠藤		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	将来的に医療経営を担う人材を育成するために、医療経営に関する経済情勢、経営環境などを学ぶと共に法務、財務、労務及びマーケティング・コミュニケーションなどの幅広い知識を習得する		
キーワード /Keywords /4000文字以内	オリエンテーション、経済学と日常生活・経済学と医療経営		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	経済学とは何かを理解し、医療経営の観点から経営スキルやコミュニケーションスキルを学ぶ		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	無し		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	無し		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	グループワークを取り入れた対話型の授業です		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	定期試験 70% レポート20% 授業態度10%	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	* 講座の定員は、40名以内とする * ⑩、⑪、⑫、⑬、⑭は、セミナーフロアにて開催(ワーク中心の講義)	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内	無し	
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	無	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	なし	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[4/14(月)1時限][322講義室]	身近な学問としての経済学①／【キーワード】オリエンテーション、経済学と日常生活・経済学と医療経営	コロナ禍の前後で私たちの行動がどう変わったかを考えておくこと[予習] 講義で触れたことについて、web等を活用して理解を深める(30分)[復習]	【担当者】非常勤講師中小企業診断士・武良 佑介／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
2[4/14(月)2時限][322講義室]	身近な学問としての経済学②／【キーワード】経済学のフレーム(GDP、4つの目標、財政政策、金融政策)	コロナ禍の前後で私たちの行動がどう変わったかを考えておくこと[予習] 講義で触れたことについて、web等を活用して理解を深める(30分)[復習]	【担当者】非常勤講師中小企業診断士・武良 佑介／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
3[4/21(月)1時限][322講義室]	企業経営の基本と心得①／【キーワード】経営理念、経営方針、経営戦略、目標設定、PDCA、ホウ・レン・ソウ	自身で起業するとしたらどのようなビジネスをしたいかを考えておくこと[予習] 講義前の自身の考えと比較し、振り返りを行うこと(30分)[復習]	【担当者】非常勤講師中小企業診断士・武良 佑介／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
4[4/21(月)2時限][322講義室]	企業経営の基本と心得②／【キーワード】3C(市場、競合、自社)、ドメイン、資金調達と運用等、健全経営	自身で起業するとしたらどのようなビジネスをしたいかを考えておくこと[予習] 講義前の自身の考えと比較し、振り返りを行うこと(30分)[復習]	【担当者】非常勤講師中小企業診断士・武良 佑介／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
5[4/28(月)1時限][322講義室]	医療経営を取り巻く環境／【キーワード】機能分化と地域医療ビジョン	鳥取県地域医療構想(概要版)を読み、医療提供体制等を理解する(30分)[予習]	【担当者】非常勤講師精神保健福祉士・三島 智子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
6[4/28(月)2時限][322講義室]	医療経営と医療制度／【キーワード】病院経営における経営資質と経営戦略	「中小病院における経営改善事例について」(厚生労働省HP)の事例を最低1例読み内容を理解する(30分)[予習]	【担当者】非常勤講師精神保健福祉士・三島 智子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
7[5/7(水)2時限][322講義室]	医療経営における会計と税務／【キーワード】医療会計、財務諸表、税務申告	確定申告の仕組みについて調べてくる(30分)[予習]	【担当者】非常勤講師税理士・福岡 光広／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
8[5/12(月)2時限][322講義室]	医療経営におけるコンプライアンスとリスク管理／【キーワード】コンプライアンス、リスク管理	講義の中の問いについてより良い対応方法を検討し深める(30分)[復習]	【担当者】非常勤講師弁護士・清水 奈月／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
9[5/19(月)2時限][322講義室]	医療経営における労務管理とメンタルヘルスケア／【キーワード】労務管理、労働判例、心の健康問題	長時間労働と脳・心臓疾患の労災認定基準の関係についてネット、新聞等で情報収集する(30分)[予習]	【担当者】非常勤講師社会保険労務士・加本 るい／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
10[5/26(月)2時限][322講義室]	医療経営マーケティング①／【キーワード】マーケティング、経営理念	次回講義で行う演習の内容を考えてくる(1.5時間)[復習]	【担当者】非常勤講師中小企業診断士・遠藤 彰／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
11[6/2(月)2時限][322講義室]	医療経営マーケティング②／【キーワード】SWOT分析、コーポレートブランド	授業後にレポート800字を作成し、次の授業までに提出する(2時間)	【担当者】非常勤講師中小企業診断士・遠藤 彰／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
12[6/9(月)2時限][322講義室]	組織の中でのコミュニケーション／【キーワード】コミュニケーション、コンセンサス形成、ワークショップ	学生が参加するコミュニティのコミュニケーションを観察してくる[予習]	【担当者】非常勤講師認定コーチ・遠藤 尚子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))

13[6/16(月)2時限]【322講義室】	コーチングスキルを活用した人財育成／【キーワード】コーチング、モチベーション	コーチングコミュニケーションを普段の生活で活用する[復習]	【担当者】非常勤講師認定コーチ・遠藤 尚子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
14[6/23(月)2時限]【322講義室】	医療サービスとしてのホスピタリティ／【キーワード】ホスピタリティ	今まで人からしてもらったことで感動した経験を考えてくる[予習]	【担当者】非常勤講師認定コーチ・遠藤 尚子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
15[6/30(月)2時限]【322講義室】	定期試験とまとめ／【キーワード】	今までの授業を振り返る[予習]	【担当者】非常勤講師中小企業診断士・遠藤 彰／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M3110300	ナンバリング /Subject Code	LAENG2101A/LAENG3102A
科目名 /Subject Name	医療英語 I		
英文科目名 /Subject English Name	Medical English I		
担当教員 /Teacher Name	ウィルシャー テイモシー ルイス,ウィルシャー テイモシー		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	火 2	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare	You should always have your notebook, a pencil or pen, and paper or a notebook to take notes.		
備考 /Note	Be ready to work hard at developing your English ability.		
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	TL ウィルシャー(非常勤の講師) – Health Science Department Office in the Alesco Building		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	Before, during, or after class hours in the classroom, or in the part-time teacher's room next to the Health Science Department office in the Alesco Building.		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	連絡先: timw@tottori-u.ac.jp		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	Second-year med students learn about medical subjects while also practicing active oral communication skills and improve listening, reading, and writing skills begun in the first year Communication English class.. Students will improve their communication skills through practice activities designed to be interesting and enjoyable while also rigorous and challenging. They will also be expected to draw on their own ideas, experience, and imagination in developing their ability for English expression, and will be encouraged to develop independent and self-motivated learning skills to further their command of English.		
キーワード /Keywords /4000文字以内	improving English fluency, developing ideas and materials for learning and teaching, communication skills, international communication		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	The Department of Medicine consists of students whose future goals include direct contact with patients in the medical field as doctors. It is expected that some of their patients will be non-Japanese speaking people and possibly a large percentage of them will have some knowledge of English. Therefore, it is essential that students in the Department of Medicine can internalize their spoken English and gain productive control of common medical terms.		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	Communication English I and II or an equivalent from another university or educational institution		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	Medical English: English for Medical Purposes		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	This is not a lecture course. It is an interactive participation course. Students will sometimes be working in pairs or in small groups and are expected to be actively involved in the lessons for the whole class period.		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	Final written test 60% Final speaking test 20% Class participation 10% Weekly homework 10%	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	You need to participate effectively in class and work well with each partner during the semester giving your best effort and support. Commit yourself to speaking exclusively in English in class, and try to speak and/or think in English outside of class as much as possible. However you feel about learning English, it will be necessary to know it well enough to communicate in various situations as provided in learning situations in class. Change your mind to think that English is YOUR LANGUAGE! Japanese people have used English for hundreds of years in many ways and it is unique to this country. Looking at it that way, it is easy to see that English is not a foreign language in Japan but another way of expression for the people living here. Take English into your heart and make it YOURS!	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(創造性に富む思考力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	無	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	なし	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[4/1(火)2時限] 【111講義室】	Unit 0 – Introduction to the Body	Everyday words vs. medical terminology	【担当者】非常勤・TL ウィルシャー
2[4/8(火)2時限] 【111講義室】	Unit 0 – Introduction to the Body & Quiz 1	Describing location and movement using verbs and prepositions	【担当者】非常勤・TL ウィルシャー
3[4/15(火)2時限] 【111講義室】	Unit 1 – Introducing Yourself	Setting the agenda, the direction, and the mood of the conversation	【担当者】非常勤・TL ウィルシャー
4[4/22(火)2時限] 【111講義室】	Unit 1 – Introducing Yourself & Quiz 2	Greeting patients and asking for details	【担当者】非常勤・TL ウィルシャー
5[5/13(火)2時限] 【111講義室】	Unit 2 – Starting the Patient Interview	Using questions to understand the patient's problems	【担当者】非常勤・TL ウィルシャー
6[5/20(火)2時限] 【111講義室】	Unit 2 – Starting the Patient Interview & Quiz 3	Past simple & continuous tenses; clarification of medical language	【担当者】非常勤・TL ウィルシャー
7[5/27(火)2時限] 【111講義室】	Unit 3 – Talking About Current Health Issues	Using wh- words to find facts about a patient's health status	【担当者】非常勤・TL ウィルシャー
8[6/3(火)2時限] 【111講義室】	Unit 3 – Talking About Current Health Issues & Quiz 4	Asking about a patient's past health experience	【担当者】非常勤・TL ウィルシャー
9[6/10(火)2時限] 【111講義室】	Unit 4 – Discussing Vital Signs	Patient consent and procedure	【担当者】非常勤・TL ウィルシャー
10[6/17(火)2時限] 【111講義室】	Unit 4 – Discussing Vital Signs & Quiz 5	Abnormal vital signs and possible meanings behind them	【担当者】非常勤・TL ウィルシャー
11[6/24(火)2時限] 【111講義室】	Unit 5 – Patient Examination	Patient confidentiality	【担当者】非常勤・TL ウィルシャー
12[7/1(火)2時限] 【111講義室】	Unit 5 – Patient Examination & Quiz 6	Polite requests and practice dialogues	【担当者】非常勤・TL ウィルシャー
13[7/8(火)2時限] 【111講義室】	Written Test／【キーワード】試験	Review and study Units 0-5 of the textbook, as well as any additional material covered in class.	【担当者】非常勤・TL ウィルシャー
14[7/15(火)2時限] 【111講義室】	Speaking Assessment／【キーワード】試験	Review and study Units 0-5 of the textbook, as well as any additional material covered in class.	【担当者】非常勤・TL ウィルシャー
15[7/22(火)2時限] 【111講義室】	Speaking Assessment (continued)／【キーワード】試験	Review and study Units 0-5 of the textbook, as well as any additional material covered in class.	【担当者】非常勤・TL ウィルシャー

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M3110300	ナンバリング /Subject Code	LAENG2101A/LAENG3102A
科目名 /Subject Name	医療英語 I		
英文科目名 /Subject English Name	Medical English I		
担当教員 /Teacher Name	戸野 康恵		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	火 2	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note	医学科2年次		
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	戸野康恵(非常勤講師)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	質問等は講義中または講義前後に行ってください。		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	tono-y@tottori-u.ac.jp		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	医療に関連した内容について読み、書き、聞き、話す活動を通じて、基本的な医療用語を習得し、医療の現場で英語のやり取りができることを目指す。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	医療英語		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	医療現場で英語によるコミュニケーションがスムーズにできる。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	1年次にコミュニケーション英語で習得した技能を活かし、医療現場での英語のやり取りができることを目指す。		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	Medical English (National Geographic Learning) Virginia Allum		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	教科書の問題を解いたり、医療用語を覚えたりする。ペアまたはグループで対話練習をしたり話し合ったり、発表したりする。医療用語を覚えるための小テストを行う。		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	定期試験50%、期末発表20%、小テスト、課題20%、授業参加10%、	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内		
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(創造性に富む思考力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	無	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	なし	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[4/1(火)2時限]【231講義室】	0 Introduction to the body	身体の部位を英語で言えるよう復習する。	
2[4/8(火)2時限]【231講義室】	0 Introduction to the body	さまざまな怪我について英語で言えるよう復習する。	
3[4/15(火)2時限]【231講義室】	1 Introducing yourself	初診時の質問ができるようにする。 病院の診療科を英語で言えるよう復習する。	
4[4/22(火)2時限]【231講義室】	1 Introducing yourself	Medical stories in life に目を通して おく	
5[5/2(金)2時限]【231講義室】	2 Starting the patient interview	さまざまな症状を英語で言えるよう 復習する。	振替授業
6[5/13(火)2時限]【231講義室】	2 Starting the patient interview	Medical stories in life に目を通して おく	
7[5/20(火)2時限]【231講義室】	3 Talking to patients about the current health issue	主な病気を英語で言えるよう復習 し、病歴について尋ねられるように する。	
8[5/27(火)2時限]【231講義室】	3 Talking to patients about the current health issue	Medical stories in life に目を通して おく	
9[6/3(火)2時限]【231講義室】	4 Discussing vital signs	測定や検査に関する語彙を復習す る。	
10[6/10(火)2時限]【231講義室】	4 Discussing vital signs	Medical stories in life に目を通して おく	
11[6/17(火)2時限]【231講義室】	5 Examining a patient	検査の際に行う指示を英語で言える よう復習する。	
12[6/24(火)2時限]【231講義室】	5 Examining a patient	Medical stories in life に目を通して おく	
13[7/1(火)2時限]【231講義室】	Review	発表の準備をする。	
14[7/8(火)2時限]【231講義室】	Presentations	発表の準備、練習をしておく。	
15[7/15(火)2時限]【231講義室】	まとめ、期末試験	Unit0-5の既習事項を復習し、筆記 試験に備える。	

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M3110300	ナンバリング /Subject Code	LAENG2101A/LAENG3102A
科目名 /Subject Name	医療英語 I		
英文科目名 /Subject English Name	Medical English I		
担当教員 /Teacher Name	ジアディーン マーク		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	火 2	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare	Please bring your own textbook, a translation device, and a notebook.		
備考 /Note	Please give me 100% effort in each class.		
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	マーク・ジアディーン(非常勤講師)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	Part-time teacher's room in the same building beside the administration office.		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	surftacular@hotmail.com		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	Second year students in Medical English classes experience the four skills more intensively to improve their communication. Medical terminology and general medical information are presented through the textbook and other resources. Students follow the guidance of the textbook and learn key vocabulary and practice oral communication.. Quizzes and short presentations are also an important part of their learning.		
キーワード /Keywords /4000文字以内	Communication skills, international communication		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	The Department of Medicine consists of students whose future goals include direct contact with patients in the medical field as doctors. It is expected that some of their patients will be non-Japanese speaking people and possibly a large percentage of them will have some knowledge of English. Therefore, it is essential that students in the Department of Medicine can internalize their spoken English as well as gain productive control of common medical terms. Many students will also give presentations in English at internationals conferences in the future, and it is important that some attention is given to speechmaking and presentation development.		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	The communication skills acquired in this course will be the foundation for English classes after this semester.		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	Book: Medical English ” English for Medical Purposes		

授業の形式 /Classwork /4000文字以内	This is not a lecture course. It will be an interactive workshop-style course. Students will be working in pairs or in small groups and are expected to be actively involved in the lessons for the whole class period.	
成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	Quizzes (6) = 60% Final Speaking Test: 40%	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	You need to participate effectively and energetically as well. I expect you to work well with each partner during the semester and give him/her your best effort and support throughout the entire time we will be together. You will need to practice speaking English outside of class, as well as being committed to speaking exclusively in English inside of class. If you do this, everyone will benefit, you, your classmates, and your future patients. You may love, like, or hate English, but that does not change the fact that I expect you to give me your best effort in class. This may result in an S grade or a C grade, but if you did your best, you can be proud of your achievement.	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(創造性に富む思考力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	無	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内		

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[4/1(火)2時限]【211講義室】	Class Overview	Introduction	Class structure
2[4/8(火)2時限]【211講義室】	Unit 0	Introduction to the Body	Everyday vs.medical terminology;
3[4/15(火)2時限]【211講義室】	Unit 0	Introduction to the Body & Quiz 1	Describing location and movement using verbs and prepositions
4[4/22(火)2時限]【211講義室】	Unit 1	Introducing Yourself	Setting the agenda of the conversation
5[5/13(火)2時限]【211講義室】	Unit 1	Introducing Yourself & Quiz 2	Greeting patients and asking for details
6[5/20(火)2時限]【211講義室】	Unit 2	Starting the Patient Interview	Using questions to understand the patient's problems
7[5/27(火)2時限]【211講義室】	Unit 2	Starting the Patient Interview & Quiz 3	Past simple & continuous plus clarification of medical language
8[6/3(火)2時限]【211講義室】	Unit 3	Talking About Current Health Issues	Using wh- to find facts about patient's health status
9[6/10(火)2時限]【211講義室】	Unit 3	Talking About Current Health Issues & Quiz 4	Asking about patient's past health experience
10[6/17(火)2時限]【211講義室】	Unit 4	Discussing Vital Signs	Patient consent and procedure
11[6/24(火)2時限]【211講義室】	Unit 4	Discussing Vital Signs & Quiz 5	Abnormal vital signs and possible reasons
12[7/1(火)2時限]【211講義室】	Unit 5	Patient Examination	Patient confidentiality
13[7/8(火)2時限]【211講義室】	Unit 5	Patient Examination & Quiz 6	Polite requests and practice dialogues
14[7/15(火)2時限]【211講義室】	Review & Final Speaking Test	Units 0-5	Original patient-doctor dialogs
15[7/22(火)2時限]【211講義室】	Review & Final Speaking Test	Units 0-5	Original patient-doctor dialogs

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7207154	ナンバリング /Subject Code	MMPHA2001
科目名 /Subject Name	基礎薬理学		
英文科目名 /Subject English Name	Basic Pharmacology		
担当教員 /Teacher Name	今村 武史,島田 美樹,市原 克則,長田 佳子,三明 淳一郎,大倉 毅,澤野 達哉		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	薬理学・薬物療法学教室 (総合研究棟4階)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	火曜日 16:30—17:30 (予めアポイントをお取りください)		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	下記へメールでご連絡ください 今村武史 <timamura@tottori-u.ac.jp>		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	医師として必要な基礎薬理学の知識を習得する		
キーワード /Keywords /4000文字以内	J理学総論、作用機序、薬理作用、薬物動態 薬理学各論、自律神経作用薬、生理活性物質		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	生体における薬剤の作用を理解し、薬剤の作用機序と薬理作用を説明することができるようになる		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	薬理学各論の一部は、基礎循環器学や基礎消化器学などの他科目において講義します		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	新しい薬理学 (西村書店 ISBN:978-4-89013-485-4)		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義、グループワーク		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	100点満点で総合評価、60点以上合格 定期試験:85～90%、小テストおよびレポート:10～15%（実施回数により調整）	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	処方薬による健康被害をなくす努力は、医師である限り必須です。 我々教員とともに、その努力の第一歩を刻みましょう。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内	別枠に記載	
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	教育グランドデザインで定める以下の「現代的教養」と「人間力」の要素に該当します。 ・現代的教養(特定の専門分野に関する理解) ・人間力(自律性に基づく実行力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	本学のディプロマ・ポリシーのうち、以下の項目に該当します。 1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している。 2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる。	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	現役の医師あるいは薬剤師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1 5/2(金) 5限【131講義室】	薬理学概論	(予習)教科書を用いる。(復習)講義資料を中心に復習する。	担当者:今村武史(薬理学・薬物療法学)
2 5/13(火) 3限【131講義室】	Pharmacodynamics(1) 薬物受容体	教科書を用いて予習する。講義資料を中心に復習する。	担当者:今村武史(薬理学・薬物療法学)
3 5/13(火) 4限【131講義室】	Pharmacodynamics(2) 用量反応関係	(予習)教科書を用いる。(復習)講義資料を中心に復習する。	担当者:今村武史(薬理学・薬物療法学)
4 5/20(火) 3限【131講義室】	Pharmacodynamics(3) 実薬例	教科書を用いて予習する。講義資料を中心に復習する。	担当者:今村武史(薬理学・薬物療法学)
5 5/20(火) 4限【131講義室】	神経作用薬序論	(予習)教科書を用いる。(復習)講義資料を中心に復習する。	担当者:今村武史(薬理学・薬物療法学)
6 6/4(水) 1限【131講義室】	Pharmacokinetics ADME(1)	教科書を用いて予習する。講義資料を中心に復習する。	担当者:市原克則(薬理学・薬物療法学)
7 6/4(水) 2限【131講義室】	Pharmacokinetics ADME(2)	(予習)教科書を用いる。(復習)講義資料を中心に復習する。	担当者:市原克則(薬理学・薬物療法学)
8 6/11(水) 1限【131講義室】	自律神経作用薬(1)	教科書を用いて予習する。講義資料を中心に復習する。	担当者:澤野達哉(薬理学・薬物療法学)
9 6/11(水) 2限【131講義室】	自律神経作用薬(2)	(予習)教科書を用いる。(復習)講義資料を中心に復習する。	担当者:澤野達哉(薬理学・薬物療法学)
10 6/18(水) 1限【131講義室】	自律神経作用薬(3)	教科書を用いて予習する。講義資料を中心に復習する。	担当者:長田佳子(薬理学・薬物療法学)
11 6/18(水) 2限【131講義室】	自律神経作用薬(4)	(予習)教科書を用いる。(復習)講義資料を中心に復習する。	担当者:長田佳子(薬理学・薬物療法学)
12 6/25(水) 1限【131講義室】	生理活性物質と関連薬(1)	教科書を用いて予習する。講義資料を中心に復習する。	担当者:大倉 毅(内分泌・代謝内科)
13 6/25(水) 2限【131講義室】	生理活性物質と関連薬(2)	(予習)教科書を用いる。(復習)講義資料を中心に復習する。	担当者:大倉 毅(内分泌・代謝内科)
14 7/2(水) 1限【131講義室】	生理活性物質と関連薬(3)	教科書を用いて予習する。講義資料を中心に復習する。	担当者:三明淳一郎(薬理学・薬物療法学)
15 7/2(水) 2限【131講義室】	生理活性物質と関連薬(4)	(予習)教科書を用いる。(復習)講義資料を中心に復習する。	担当者:三明淳一郎(薬理学・薬物療法学)

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7208004	ナンバリング /Subject Code	MMBAM2601
科目名 /Subject Name	基礎消化器学		
英文科目名 /Subject English Name	Basic Medicine (Digestive System)		
担当教員 /Teacher Name	中曾 一裕,今村 武史,中根 裕信,小谷 勇,松尾 聡,椋田 崇生,花木 武彦,板場 則子,小山 友香,濱崎 佐和子,横田 茂文		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	中曾一裕（生化学）		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	基本的時間帯 金 8:40~12:00 一部例外あり 木 8:40~12:00 火 8:40~12:00, 13:00~14:20 メールや電話による事前の確認をしておくことが好ましい		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	0859-38-6153（生化学）		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内			
キーワード /Keywords /4000文字以内	口腔、歯、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、膵臓、胆嚢胆管、消化、吸収、代謝、消化器疾患、治療薬		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	消化器系の発生と構造および機能、薬理作用を理解し、それらを病態と関連づけて説明できる		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内			
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	講義内容はプリントとして講義時間に配付する。 参考書:Linda S. Costanzoの明解生理学(松尾)、 Ross組織学 原書7版、内山安男・相磯貞和監訳、南江堂、2019年(組織学実習)		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義(対面式)および 実習(組織学) 原則的に対面式を基本とするが、やむを得ない場合にオンライン講義に変更することがある(manaba等で連絡)。		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	評価:本試験は筆記試験+実習評点 100%。ただし、単位認定規則の出席時間不足者は受験を認めない。再試験は筆記試験のみで評価する。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	組織学実習は組織系実習室にておこなう。その際、パソコン、色鉛筆(12色程度)、LANケーブルを持参のこと。授業外学習は講義プリントや参考書を使って復習を中心に行うことを勧める。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、人間力(自律性に基づく実行力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	研究者や臨床医がその経験を生かして、消化器に関する専門分野の講義・実習を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[4/4(金)1時限]【131講義室】	口腔、歯、舌、唾液腺の構造／【キーワード】口腔、粘膜、歯、歯周組織、小唾液腺、大唾液腺、舌、上顎骨、下顎骨、口蓋、顎関節	(予習)教科書などでキーワードを調べ理解する。(復習)口腔、歯、舌、唾液腺について説明できるようにまとめる。	【担当者】口腔顎顔面病態外科学・小谷 勇／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
2[4/4(金)3時限]【131講義室】	消化管の一般構造、食道・胃の構造／【キーワード】粘膜、筋層、漿膜、狭窄部位、胃底、噴門、幽門、小弯、大弯、胃腺	(予習)教科書などでキーワードを調べ理解する。(復習)消化器の一般構造、食道、胃について説明できるようにまとめる。	【担当者】高知大学(非常勤講師)解剖学・中根 裕信／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
3[4/4(金)4時限]【131講義室】	小腸、大腸の構造／【キーワード】回盲部、虫垂、結腸ヒモ、腹膜垂、結腸膨起、腸絨毛、パイエル板	(予習)教科書などでキーワードを調べ理解する。(復習)小腸、大腸の構造について説明できるようにまとめる。	【担当者】高知大学(非常勤講師)解剖学・中根 裕信／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
4[4/18(金)1時限]【131講義室】	肝臓の構造／【キーワード】肝細胞、類洞、クッパー細胞、星細胞、グリソン鞘、胆管、外科視点からの肝臓解剖学	(予習)教科書などでキーワードを調べ理解する。(復習)肝臓の構造について説明できるようにまとめる。	【担当者】医学教育学・花木武彦／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
5[4/18(金)2時限]【131講義室】	膵臓、胆嚢の構造／【キーワード】胆嚢底部・体部・頸部、胆嚢管、肝管、総胆管、オディ括約筋、副膵管、外分泌部、膵島、インスリン、ソマトスタチン、コレシストキニン、セクレチン	(予習)教科書などでキーワードを調べ理解する。(復習)膵臓、胆嚢の構造について説明できるようにまとめる。	【担当者】医学教育学・花木武彦／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
6[4/25(金)3時限]【組織系実習室】	組織学実習(1)／【キーワード】食道腺、筋層、筋層間(Auerbach)神経叢、粘膜下(Meissner)神経叢、胃小窩、胃腺、主細胞、頸部粘液細胞(副細胞)、壁細胞	(予習)講義資料・参考書で調べ、要点を理解する。(復習)実習書[実習課題も含む]にそって、アトラス・参考書等で確認し、消化器の組織を理解する。	【担当者】解剖学・椋田 崇生、横田 茂文、小山 友香、濱崎 佐和子、再生医療学・板場 則子／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))【担当者】再生医療学・板場 則子／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
7[4/25(金)4時限]【組織系実習室】	組織学実習(2)／【キーワード】腸絨毛、陰窩、腸腺、ブルネル腺、リーベルキューン腺、パネート細胞、リンパ小節	(予習)講義資料・参考書で調べ、要点を理解する。(復習)実習書[実習課題も含む]にそって、アトラス・参考書等で確認し、消化器の組織を理解する。	【担当者】解剖学・椋田 崇生、横田 茂文、小山 友香、濱崎 佐和子、再生医療学・板場 則子／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))【担当者】再生医療学・板場 則子／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
8[5/2(金)3時限]【組織系実習室】	組織学実習(3)／【キーワード】肝小葉、類洞、グリソン鞘、三つ組	(予習)講義資料・参考書で調べ、要点を理解する。(復習)実習書[実習課題も含む]にそって、アトラス・参考書等で確認し、消化器の組織を理解する。	【担当者】解剖学・椋田 崇生、横田 茂文、小山 友香、濱崎 佐和子、再生医療学・板場 則子／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))【担当者】再生医療学・板場 則子／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
9[5/2(金)4時限]【組織系実習室】	組織学実習(4)／【キーワード】膵管、腺房、腺房中心細胞、膵島	(予習)講義資料・参考書で調べ、要点を理解する。(復習)実習書[実習課題も含む]にそって、アトラス・参考書等で確認し、消化器の組織を理解する。	【担当者】解剖学・椋田 崇生、横田 茂文、小山 友香、濱崎 佐和子、再生医療学・板場 則子／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))【担当者】再生医療学・板場 則子／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
10[5/9(金)1時限]【131講義室】	消化管の発生／【キーワード】前腸・中腸・後腸、腸ループの回転、肝憩室、メッケル憩室	(予習)教科書などでキーワードを調べ理解する。(復習)消化管の発生について説明できるようにまとめる。	【担当者】再生医療学・板場 則子／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

11[5/9(金)2時限]【131講義室】	肝臓の機能(1)／【キーワード】グリコーゲン、糖新生、ケトン体、コレステロール、リポタンパク、尿素回路、シトクロムP450、肝細胞、肝組織代謝酵素の分布特性	(予習)教科書などでキーワードを調べ理解する。(復習)肝臓の機能について説明できるようにまとめる。	【担当者】生化学・中曽 一裕／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
12[5/16(金)1時限]【131講義室】	肝臓の機能(2)／【キーワード】ビタミンA、ビタミンD、ビタミンK、鉄・銅代謝、急性期タンパク質、ADH、ALDH、MEOS、非実質肝細胞の機能	(予習)教科書などでキーワードを調べ理解する。(復習)肝臓の機能について説明できるようにまとめる。	【担当者】生化学・中曽 一裕／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
13[5/16(金)2時限]【131講義室】	胆膵系の機能／【キーワード】胆汁、胆汁酸代謝、腸肝循環、ビリルビン代謝、黄疸、消化酵素、胆石症、胆嚢炎、胆管炎、膵炎	(予習)教科書などでキーワードを調べ理解する。(復習)淡水系について説明できるようにまとめる。	【担当者】生化学・中曽 一裕／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
14[5/23(金)1時限]【131講義室】	消化管の運動／【キーワード】嚥下、輪走筋、縦走筋、機能的合胞体、アウエルバツハ神経叢、slow wave、蠕動運動、排便	(予習)教科書などでキーワードを調べ理解する。(復習)消化管の運動について説明できるようにまとめる。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
15[5/23(金)2時限]【131講義室】	消化の神経性、液性調節／【キーワード】壁内神経叢、迷走神経、ガストリン、セクレチン、コレシストキニン	(予習)教科書などでキーワードを調べ理解する。(復習)消化の神経性、液性調節について説明できるようにまとめる。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
16[5/27(火)1時限]【131講義室】	消化器疾患治療薬(1)／【キーワード】胃酸分泌、H2レセプター、H2ブロッカー、プロトンポンプ、プロトンポンプインヒビター	(予習)教科書などでキーワードを調べ理解する。(復習)消化器疾患治療薬について説明できるようにまとめる。	【担当者】薬理学・薬物療法学・今村 武史／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
17[5/30(金)1時限]【131講義室】	消化液の分泌／【キーワード】唾液、アミラーゼ、胃液、胃酸、ペプシン、膵液、トリプシン、膵アミラーゼ、膵リパーゼ、HCO ₃ ⁻	(予習)教科書などでキーワードを調べ理解する。(復習)消化液の分泌について説明できるようにまとめる。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
18[5/30(金)2時限]【131講義室】	消化と吸収／【キーワード】能動輸送、担体輸送、共輸送、糖質・蛋白質・脂質の吸収	(予習)教科書などでキーワードを調べ理解する。(復習)消化と吸収について説明できるようにまとめる。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
19[6/3(火)1時限]【131講義室】	消化器疾患治療薬(2)／【キーワード】自律神経作用薬、ケミカルメディエーター、ガベキサートメシル酸塩、ナファモスタットメシル酸塩	(予習)教科書などでキーワードを調べ理解する。(復習)消化器疾患治療薬について説明できるようにまとめる。	【担当者】薬理学・薬物療法学・今村 武史／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7208005	ナンバリング /Subject Code	MMBAM3601
科目名 /Subject Name	基礎循環器学		
英文科目名 /Subject English Name	Basic Medicine (Circulatory System)		
担当教員 /Teacher Name	海藤 俊行,今村 武史,松尾 聡,椋田 崇生,三明 淳一郎,澤野 達哉,小山 友香,濱崎 佐和子,横田 茂文		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	水 1, 水 2, 木 1, 木 2	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	2.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	海藤 俊行(解剖学) 総合研究棟3階 解剖学講座(研究室1)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	月曜日4時限		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	0859-38-6011 (解剖学) kaidoh@tottori-u.ac.jp		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	心臓、血管系の構造と機能に関する知識を修得し、病態の理解や診断・治療に応用するために、講義と組織学実習を行う。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	心臓、動脈、静脈、毛細血管、リンパ管、興奮収縮連関、心周期、心機能曲線、刺激伝導系、心電図、血圧調節、循環調節、心不全、抗不整脈薬、強心薬、脂質・尿酸 代謝異常治療薬、狭心症治療薬、降圧薬、心不全治療薬、抗凝固・抗血栓薬		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	心臓、脈管の正常構造と機能に関する知識を修得して、病態の理解や診断・治療に応用できる。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内			
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	プリントを配布します。		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義、組織学実習		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	心臓、脈管の正常構造と機能に関する知識を修得して、病態の理解や診断・治療に応用できるか、筆記試験で評価する。心臓と脈管の組織構造を理解しているか組織実習レポートから評価する。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	組織学実習には パソコン、色鉛筆(12色程度)を持参のこと。 組織系実習室は総合教育棟4階にあります。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	研究医や臨床医がその経験を生かして、循環器に関する専門分野の講義・実習を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[4/2(水)4時限]【組織系実習室】	心臓の構造／【キーワード】右心房、右心室、左心房、左心室、心膜、刺激伝導系	〈復習〉講義で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・心臓の構造を説明できる ・心臓の構造に関わる疾患の例を理解できる	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
2[4/2(水)5時限]【組織系実習室】	心臓の弁と血管・神経／【キーワード】肺動脈弁、大動脈弁、僧帽弁、三尖弁、心音、冠状動脈、心臓の画像診断、神経支配	〈予習〉配布資料でキーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉講義で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・心臓の弁の構造と心臓に分布する血管・神経を説明できる ・弁に関わる疾患の例を理解できる	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
3[4/9(水)1時限]【組織系実習室】	体循環と肺循環、大動脈と頭頸部の動脈／【キーワード】体循環、肺循環、大動脈、総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈	〈予習〉配布資料でキーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉講義で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・体循環と肺循環を説明できる ・大動脈の走行と主な枝を図示して概説できる。 ・頭頸部の主な動脈を図示し、分布域を概説できる。 ・動脈に関わる疾患の例を理解できる。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
4[4/9(木)2時限]【組織系実習室】	脳の動脈、上肢の動脈／【キーワード】前・中・後大脳動脈、椎骨動脈、大脳動脈輪、腋窩動脈、上腕動脈、橈骨動脈、尺骨動脈、浅掌・深掌動脈弓	〈予習〉配布資料でキーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉講義で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・脳の主な動脈を図示し、分布域を概説できる。 ・上肢の主な動脈を図示し、分布域を概説できる。 ・動脈に関わる疾患の例を理解できる。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
5[4/10(木)1時限]【組織系実習室】	胸大動脈と腹大動脈の枝／【キーワード】胸大動脈、肋間動脈、腹大動脈、腹腔動脈、上腸間動脈、下腸間動脈、腎動脈	〈予習〉配布資料でキーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉講義で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・胸動脈と腹大動脈の枝を図示し、分布域を概説できる。 ・動脈に関わる疾患の例を理解できる。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
6[4/10(木)2時限]【組織系実習室】	骨盤と下肢の動脈、静脈系の特徴、上大静脈と下大静脈／【キーワード】総腸骨動脈、内腸骨動脈、外腸骨動脈、大腿動脈、膝窩動脈、前脛骨動脈、後脛骨動脈、上大静脈、下大静脈	〈予習〉配布資料でキーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉講義で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・内・外腸骨動脈の枝と分布域を概説できる ・下肢の主な動脈を図示し、分布域を概説できる ・静脈系の特徴を概説できる、上大静脈と下大静脈に流入する主な静脈を図示し、概説できる。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))

7[4/16(水)1時限]【組織系実習室】	心臓細胞の微細構造と興奮収縮連関／【キーワード】アクチン、ミオシン、トロポニン、T管系、筋小胞体、細胞内カルシウム、トロポミオシン、架橋、滑走説	〈予習〉キーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉心臓の微細構造と機能との関連、特に興奮収縮連関を説明できるように授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
8[4/16(水)2時限]【組織系実習室】	心周期に伴う血行動態／【キーワード】収縮期、拡張期、駆出期、充満期、心臓弁、心室内圧、心房内圧、動脈圧、心音	〈予習〉キーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉心周期に伴う血行動態を説明できるように授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
9[4/17(木)1時限]【組織系実習室】	心機能曲線と心拍出量の調節機序／【キーワード】心拍出量、心拍数、1回拍出量、スターリングの法則、自律神経作用、長さ-張力曲線、静脈還流量	〈予習〉キーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉心機能曲線と心拍出量の調節機序を説明できるように授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
10[4/17(木)2時限]【組織系実習室】	血圧調節のメカニズム／【キーワード】神経因性調節、液性調節、心拍出量、総末梢血管抵抗、血管平滑筋、圧受容器反射、RAA系、ANP、バゾプレシン	〈予習〉講義のキーワードの内容を、教科書等(医学書院・標準生理学第9版p668-695)から捉えておくこと。 〈復習〉血圧調節の機序を説明できるように授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
11[4/23(水)1時限]【組織系実習室】	頭頸部、上肢、体幹の静脈、門脈／【キーワード】腕頭静脈、内頸静脈、外頸静脈、硬膜静脈洞、鎖骨下静脈、橈側・尺側皮静脈、奇静脈系、門脈	〈予習〉配布資料でキーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉講義で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・頭頸部、上肢、体幹の主な静脈を図示して概説できる。 ・門脈系を図示して概説できる。 ・門脈系と大静脈系の吻合部を説明できる。 ・静脈に関わる疾患の例を理解できる。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
12[4/23(水)2時限]【組織系実習室】	骨盤と下肢の静脈、血管壁の構造／【キーワード】総腸骨静脈、大伏在静脈、内膜、中膜、外膜	〈予習〉配布資料でキーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉講義で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・骨盤と下肢の主な静脈を図示できる。 ・血管壁の構造を概説できる。 ・静脈に関わる疾患の例を理解できる。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
13[4/24(木)1時限]【組織系実習室】	毛細血管における物質、水分交換／【キーワード】拡散、ろ過、再吸収、スターリングの仮説、毛細管内圧、血漿膠質浸透圧、リンパ管、血管内皮細胞、浮腫	〈予習〉キーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉毛細血管における物質、水分交換を説明できるように授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
14[4/24(木)2時限]【組織系実習室】	局所循環と胎児循環／【キーワード】脳循環、冠循環、肝循環、腎循環、皮膚循環、胎児循環	〈予習〉キーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉特殊循環について説明できるように授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
15[4/30(水)1時限]【組織系実習室】	心筋細胞の電気現象と刺激伝導系／【キーワード】静止膜電位、興奮性、活動電位、イオンチャネル、洞結節、房室結節、ヒス束、脚、プルキンジェ線維、自動能発生機序、興奮伝導、不応期	〈予習〉キーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉心筋細胞の電気現象と刺激伝導系を説明できるように授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】薬理学・薬物療法学・三明 淳一郎／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

16[4/30(水)2時限]【組織系実習室】	心電図の原理／【キーワード】12誘導心電図、電気的2重層、体表面電位変化、標準双極肢誘導、Einthovenの三角形、増高単極肢誘導、中心電極、単極胸部誘導、基本波形、波形の異常、リズムの異常	〈予習〉キーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉心電図の原理を理解して説明できるように授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】薬理学・薬物療法学・三明 淳一郎／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
17[5/1(木)1時限]【組織系実習室】	運動時の循環調節／【キーワード】骨格筋循環、肺循環、酸素摂取量、前毛細管括約筋、代謝性血流調節、アデノシン、乳酸、カテコラミン	〈予習〉講義のキーワードの内容を、教科書等(医学書院・標準生理学第9版など)から捉えておくこと。 〈復習〉運動時の循環調節とその機序を説明できるように授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
18[5/1(木)2時限]【組織系実習室】	心不全の病態生理／【キーワード】心拍出量、静脈還流量、右房圧、浮腫、代償性心不全、非代償性心不全、心原性ショック、HFrEF、HFpEF	〈予習〉講義のキーワードの内容を、教科書等(Medic Medica・病気がみえるvol.2循環器第5版など)から捉えておくこと。 〈復習〉心不全時の循環動態について説明できるように授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
19[5/8(木)1時限]【組織系実習室】	心血管系の形成過程／【キーワード】心臓の発生、血管の発生	〈復習〉講義で学んだ以下の点について復習すること。 ・心血管系の形成過程を説明でき、さらにその分化過程の・異常と関連する疾患の基礎知識を理解する	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
20[5/8(木)2時限]【組織系実習室】	リンパ管系とリンパ節／【キーワード】毛細リンパ管、リンパ本管、胸管、所属リンパ節、頭頸部のリンパ路、乳房のリンパ路、胸腔のリンパ路、腹腔のリンパ路、骨盤腔のリンパ路、下肢のリンパ路	〈復習〉講義で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・全身のリンパの流れを概説できる。 ・所属リンパ節と疾患の関係を概説できる。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
21[5/14(水)1時限]【組織系実習室】	循環器作用薬(抗不整脈薬)の薬理作用／【キーワード】自動能不整脈、リエントリー不整脈、上室性不整脈、心室性不整脈、Naチャンネル/Caチャンネル/Kチャンネル抑制薬、β遮断薬	〈予習〉キーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉抗不整脈薬の作用機序と応用を説明できるように授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】薬理学・薬物療法学・三明 淳一郎／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
22[5/14(水)2時限]【組織系実習室】	循環器作用薬(強心薬)の薬理作用／【キーワード】ジギタリス、Na-KATPase、SR、Ca、c-AMP、Caチャンネル、強心薬、アムリノン、ベスナリノン、ピモベンダン、デノバミン、コルフォシン	〈予習〉キーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉強心薬の種類と作用機序を説明できるように授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】薬理学・薬物療法学・三明 淳一郎／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
23[5/21(水)1時限]【323講義室】	脂質・尿酸代謝異常治療薬(1)／【キーワード】高LDLコレステロール血症、低HDLコレステロール血症、高トリグリセリド血症、痛風、スタチン系、フィブラート系、プロブコール	〈予習〉右欄キーワードから教科書(「新しい薬理学」西村書店)を用い予習する。 〈復習〉講義時の配布資料を中心に、教科書とともに復習する。	【担当者】薬理学・薬物療法学・今村 武史／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
24[5/21(水)2時限]【323講義室】	脂質・尿酸代謝異常治療薬(2)／【キーワード】高LDLコレステロール血症、低HDLコレステロール血症、高トリグリセリド血症、痛風、スタチン系、フィブラート系、プロブコール	〈予習〉右欄キーワードから教科書(「新しい薬理学」西村書店)を用い予習する。 〈復習〉講義時の配布資料を中心に、教科書とともに復習する。	【担当者】薬理学・薬物療法学・今村 武史／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
25[5/22(木)1時限]【組織系実習室】	組織学実習／【キーワード】心内膜、心筋層、心外膜、血管の内膜・中膜・外膜、弾性型動脈、筋型動脈、小動脈、細動脈、毛細血管、細静脈	〈予習〉これまでの講義資料等でキーワードの組織学的構造を押さえておくこと。 〈復習〉心臓と血管の組織構造について図示して説明できるよう、理解を深めること。また、スケッチを完成させること。	【担当者】解剖学・海藤 俊行、椋田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

26[5/22(木)2時限]【組織系実習室】	組織学実習／【キーワード】胸腺、胸腺細胞、ハッサル小体、リンパ節、リンパ小節、傍皮質、髄索、リンパ洞、脾臓、脾柱、白脾髄、赤脾髄、中心動脈	〈予習〉これまでの講義資料等でキーワードの組織学的構造を押さえておくこと。 〈復習〉胸腺、リンパ節、脾臓の組織構築について図示して説明できるよう、理解を深めること。また、スケッチを完成させること。	【担当者】解剖学・海藤 俊行、椋田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
27[5/28(水)1時限]【組織系実習室】	循環器作用薬(心不全治療薬)／【キーワード】急性心不全、慢性心不全、強心薬、利尿薬、hANP、血管拡張薬、 β 遮断薬、ACEI、ARB、アルドステロンブロッカー	〈予習〉キーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉心不全の病態に応じた治療薬を説明できるように授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】薬理学・薬物療法学・三明 淳一郎／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
28[5/28(水)2時限]【組織系実習室】	抗凝固・抗血栓薬／【キーワード】心筋梗塞、静脈血栓、抗血小板薬、抗凝固薬、血栓溶解薬、アスピリン、ワルファリン、t-PA、DOAC	〈予習〉キーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉抗凝固薬の作用機序を説明できるように授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】薬理学・薬物療法学・三明 淳一郎／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
29[7/11(金)3時限]【組織系実習室】	循環器作用薬(狭心症治療薬)／【キーワード】労作狭心症、不安定狭心症、冠攣縮性狭心症、冠攣縮、急性冠症候群、硝酸薬、Kチャネル開口薬、Ca拮抗薬、 β 遮断薬、抗血小板薬	〈予習〉ラング・デール薬理学、臨床薬理学原書第3版などを用いて、キーワードを中心に内容を確認しておくこと。 〈復習〉虚血性心疾患治療薬(狭心症治療薬)の薬理作用、作用機序を説明できるように講義内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】薬理学・薬物療法学・澤野 達哉／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
30[7/11(金)4時限]【組織系実習室】	循環器作用薬(降圧薬)／【キーワード】利尿薬、Ca拮抗薬、ACE阻害薬(ACEi)、アンジオテンシンII受容体拮抗薬(ARB)、MR拮抗薬、アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI)、RAAS、 β 遮断薬、中枢性降圧薬	〈予習〉ラング・デール薬理学、臨床薬理学原書第3版などを用いて、キーワードを中心に内容を確認しておくこと。 〈復習〉降圧薬の薬理作用、作用機序を説明できるように講義内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】薬理学・薬物療法学・澤野 達哉／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

授業基本情報/Course base information			
科目コード /Subject Code	M7208006	ナンバリング /Subject Code	MMBAM3602
科目名 /Subject Name	基礎呼吸器学		
英文科目名 /Subject English Name	Basic Medicine (Respiratory System)		
担当教員 /Teacher Name	松尾 聡, 椋田 崇生, 長田 佳子, エゾモ オージェイル, 小山 友香, 濱崎 佐和子, 横田 茂文		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	松尾 聡(適応生理学)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内			
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	0859-38-6041		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内			
キーワード /Keywords /4000文字以内	各授業内容ごとに記載している		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	1) 呼吸器系の発生と構造を説明できる。2) 呼吸器系の機能を説明できる。3) 呼吸器系に働く薬物の作用機序を説明できる、4) 肺循環について説明できる		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内			
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	プリント配布。参考書: Ross組織学 原書7版、内山安男・相磯貞和監訳、南江堂、2019年(組織学実習)		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内			

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	筆記試験を実施する。試験の配点は、講義時間数に応じて行う。筆記試験81%、組織学実習19%とする。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	組織学実習は組織学実習室で行う。パソコン、色鉛筆を持参のこと。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	研究者や臨床医がその経験を生かして、講義・実習を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[4/3(木)3時限]【131講義室】	鼻腔・咽頭の構造／【キーワード】鼻前庭、鼻中隔、嗅上皮、キーゼルバツハ部位、鼻甲介、副鼻腔、ワルダイエルの咽頭輪	(予習)キーワードを参考書などで調べ理解する。(復習)鼻腔・咽頭の構造を説明できるように授業内容をまとめる。	【担当者】解剖学・小山 友香／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
2[4/3(木)4時限]【131講義室】	喉頭・気管・気管支の構造／【キーワード】声門、声帯、喉頭蓋、甲状軟骨、輪状軟骨、気管、細気管支、呼吸細気管支	(予習)キーワードを調べ理解する。(復習)喉頭・気管・気管支の構造を説明できるように授業内容をまとめる。	【担当者】解剖学・小山 友香／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
3[4/7(月)3時限]【131講義室】	肺の構造／【キーワード】肺門、肺動静脈、気管支動静脈、肺門リンパ節、肺葉、肺区域、一次小葉、二次小葉、肺胞	(予習)キーワードを調べ理解する。(復習)肺の構造、呼吸器系の発生を説明できるように授業内容をまとめる。	【担当者】解剖学・小山 友香／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
4[4/7(月)4時限]【131講義室】	縦隔・胸膜・胸郭の構造／【キーワード】縦隔リンパ節、壁側胸膜、臓側胸膜、胸膜腔、骨性胸郭、横隔膜	(予習)キーワードを調べ理解する。(復習)縦隔・胸膜・胸郭の構造を説明できるように授業内容をまとめる。	【担当者】解剖学・小山 友香／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
5[4/14(月)3時限]【131講義室】	呼吸筋と呼吸運動／【キーワード】呼吸筋、補助呼吸筋、横隔神経、肋間神経、胸膜腔内圧、死腔	(予習)キーワードを調べ理解する。(復習)呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できるように授業内容をまとめる。	【担当者】適応生理学・恵祖茂オージェイル／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
6[4/14(月)4時限]【131講義室】	換気／【キーワード】肺コンプライアンス、表面活性物質、呼吸抵抗、肺気量と肺容量、スパイログラム	(予習)キーワードを調べ理解する。(復習)換気力学を概説できるように授業内容をまとめる。	【担当者】適応生理学・恵祖茂オージェイル／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
7[4/21(月)3時限]【131講義室】	肺循環／【キーワード】肺動脈楔入圧、Waterfall現象、換気-血流比、肺水腫、起座呼吸、低酸素性肺血管収縮、肺高血圧	(予習)キーワードを調べ理解する。(復習)肺循環の特徴を説明できるように授業内容をまとめる。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
8[4/21(月)4時限]【131講義室】	ガス交換／【キーワード】肺胞膜、拡散、Fickの法則、肺胞気-動脈血較差、理想肺、右-左シャント	(予習)キーワードを調べ理解する。(復習)肺胞におけるガス交換の機序を説明できるように授業内容をまとめる。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
9[4/28(月)3時限]【131講義室】	ガス運搬／【キーワード】ヘモグロビン、酸素解離曲線、Bohr効果、Haldane効果、カルバミノ化合物、塩素イオン移動	(予習)キーワードを調べ理解する。(復習)ガス運搬の仕組みを説明できるように授業内容をまとめる。	【担当者】適応生理学・恵祖茂オージェイル／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
10[4/28(月)4時限]【131講義室】	呼吸調節(1)／【キーワード】呼吸中枢、背側呼吸ニューロン群、腹側呼吸ニューロン群、咳反射	(予習)キーワードを調べ理解する。(復習)呼吸中枢による呼吸リズム形成、咳反射のメカニズム、肺の防御機構が概説できるように授業内容をまとめる。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
11[5/13(火)1時限]【131講義室】	呼吸器作用薬(1)／【キーワード】気管支拡張薬、テオフィリン、 β_2 刺激薬、吸入ステロイド薬、抗コリン薬	(予習)キーワードを調べ理解する。(復習)授業範囲の教科書等を読み、プリントを復習する。	【担当者】薬理学・薬物療法学・長田 佳子／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
12[5/20(火)1時限]【131講義室】	呼吸器作用薬(2)／【キーワード】気管支拡張薬、テオフィリン、 β_2 刺激薬、吸入ステロイド薬、抗コリン薬	(予習)キーワードを調べ理解する。(復習)授業範囲の教科書等を読み、プリントを復習する。	【担当者】薬理学・薬物療法学・長田 佳子／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
13[5/26(月)3時限]【組織系実習室】	呼吸調節(2)／【キーワード】ヘーリング・ブロイエル反射、化学受容器、頸動脈小体、大動脈小体、中枢化学受容野、呼吸の異常	(予習)キーワードを調べ理解する。(復習)呼吸調節機序を説明できるように授業内容をまとめる。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

14[5/26(月)4時限]【組織系実習室】	組織学実習(1)／【キーワード】多列線毛上皮、線毛上皮細胞、杯細胞、基底細胞、クララ細胞、気管軟骨、細気管支、肺泡、肺泡上皮細胞、肺泡マクロファージ(塵埃細胞)	(予習)キーワードを調べ理解する。 (復習)呼吸器系の構造を図示できるように授業内容をまとめる。	【担当者】解剖学・椋田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
15[6/6(金)1時限]【組織系実習室】	組織学実習(2)／【キーワード】多列線毛上皮、線毛上皮細胞、杯細胞、基底細胞、クララ細胞、気管軟骨、細気管支、肺泡、肺泡上皮細胞、肺泡マクロファージ(塵埃細胞)	(予習)キーワードを調べ理解する。 (復習)呼吸器系の構造を図示できるように授業内容をまとめる。	【担当者】解剖学・椋田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
16[6/6(金)2時限]【組織系実習室】	組織学実習(3)／【キーワード】多列線毛上皮、線毛上皮細胞、杯細胞、基底細胞、クララ細胞、気管軟骨、細気管支、肺泡、肺泡上皮細胞、肺泡マクロファージ(塵埃細胞)	(予習)キーワードを調べ理解する。 (復習)呼吸器系の構造を図示できるように授業内容をまとめる。	【担当者】解剖学・椋田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

授業基本情報 / Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7208009	ナンバリング /Subject Code	MMBAM3604
科目名 /Subject Name	基礎泌尿器学		
英文科目名 /Subject English Name	Basic Medicine (Urinary System)		
担当教員 /Teacher Name	松尾 聡,今村 武史,井上 武,海藤 俊行,椋田 崇生,本田 正史,山口 徳也,小山 友香,濱崎 佐和子,横田 茂文		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	0.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報 / Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	適応生理学分野、松尾 聡		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	平日の12:00～13:00、17:00～18:00(適応生理学分野、松尾 聡)		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	適応生理学分野、松尾 聡 smatsuo@tottori-u.ac.jp		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	泌尿器系臓器の発生と構造、機能、泌尿器疾患の病理学、腎臓の機能、腎臓作用薬の薬理作用を理解する。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	各授業内容ごとに記載している。		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	1) 泌尿器系臓器の発生と構造を説明できる、2) 腎臓の機能とその調節について説明できる、3) 蓄排尿の機序を説明できる、4) 腎臓作用薬の薬理作用を理解する、5) 泌尿器疾患の病理を説明できる		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	腎・泌尿器科との関連が主となる		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	プリント配布。組織学実習:ROSS組織学(南江堂)または組織細胞生物学(南江堂)。		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義、実習形式、小テストを行うこともある		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	筆記試験を実施する。試験の配点は、講義時間数に応じて行う。筆記試験83%、組織学実習17%とする。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	組織学実習は組織学実習室で行う。パソコン、色鉛筆を持参のこと。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	研究者や臨床医がその経験を生かして講義・実習を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[6/2(月)4時限]【組織系実習室】	泌尿器系の構造／【キーワード】腎臓、尿管、膀胱、尿道、腹膜後器官、腎動静脈、交感・副交感神経、陰部神経、前腎、中腎、後腎	(予習)キーワードを調べておく。(復習)腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配・発生を説明できるように授業内容をまとめる。	【担当者】解剖学・棕田 崇生／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
2[6/5(木)1時限]【組織系実習室】	腎臓の構造／【キーワード】腎小体、糸球体、ボウマン嚢、輸入・輸出細動脈、近位尿細管、ヘンレのループ、遠位尿細管、集合管、糸球体傍装置	(予習)キーワードを調べておく。(復習)腎臓のネフロン各部の構造と機能を概説できるように授業内容をまとめる。	【担当者】解剖学・棕田 崇生／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
3[6/5(木)2時限]【組織系実習室】	体液と電解質／【キーワード】体液、細胞外液、細胞内液、浸透圧、視床下部、ADH	(予習)キーワードを調べておく。(復習)体液の量と組成・浸透圧について成人と小児を区別して説明でき、水・電解質の調節機構を説明できるように授業内容をまとめる。	【担当者】適応生理学・井上 武／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
4[6/9(月)4時限]【組織系実習室】	膀胱・尿道・前立腺の機能異常／【キーワード】神経因性膀胱、前立腺肥大症、下部尿路症	(予習)キーワードを調べておく。(復習)神経因性膀胱と下部尿路症の概要を理解できるように授業内容をまとめる。	【担当者】腎泌尿器学・山口徳也／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
5[6/16(月)3時限]【組織系実習室】	組織学実習／【キーワード】腎小体、糸球体、ボウマン嚢、輸入・輸出細動脈、近位・遠位尿細管、ヘンレのループ、集合管、糸球体傍装置	(予習)泌尿器系の構造の授業資料およびROSS組織学p.698-741等で概要を捉えておくこと。(復習)腎臓の組織構造について光学顕微鏡で判別できるように実習課題に取り組みつつ、授業で配布した実習書の内容を各自キャプチャーした組織像や教科書の図版等で再度確認し、理解を深めること。	【担当者】解剖学・棕田 崇生 横田 茂文 濱崎佐和子 小山 友香／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
6[6/16(月)4時限]【組織系実習室】	組織学実習／【キーワード】腎小体、糸球体、ボウマン嚢、輸入・輸出細動脈、近位・遠位尿細管、ヘンレのループ、集合管、糸球体傍装置	(予習)泌尿器系の構造の授業資料およびROSS組織学p.698-741等で概要を捉えておくこと。(復習)腎臓の組織構造について光学顕微鏡で判別できるように実習課題に取り組みつつ、授業で配布した実習書の内容を各自キャプチャーした組織像や教科書の図版等で再度確認し、理解を深めること。	【担当者】解剖学・棕田 崇生 横田 茂文 濱崎佐和子 小山 友香／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
7[6/19(木)1時限]【組織系実習室】	腎臓の機能(1)／【キーワード】バゾプレッシン、アンギオテンシン、レニン、アルドステロン	(予習)キーワードを調べておく。(復習)腎に作用するホルモン・血管作動物質の作用を説明できるように授業内容をまとめる。	【担当者】適応生理学・井上 武／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
8[6/19(木)2時限]【組織系実習室】	腎臓の機能(2)／【キーワード】糸球体濾過量、腎血漿流量、濾過率、有効濾過圧、原尿、クリアランス	(予習)キーワードを調べておく。(復習)腎臓の機能腎糸球体の濾過機序を説明できるように授業内容をまとめる。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
9[6/26(木)1時限]【組織系実習室】	腎臓の機能(3)／【キーワード】再吸収、分泌、最大輸送量、対向流、水利尿、浸透圧利尿	(予習)キーワードを調べておく。(復習)尿細管各部の再吸収・分泌機構と尿濃縮機序を説明できるように授業内容をまとめる。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
10[7/3(木)1時限]【組織系実習室】	腎臓の機能(4)／【キーワード】ヘンダーソン・ハッセルバルヒ、呼吸性調節、腎性調節、緩衝作用、重炭酸系、アシドーシス、アルカローシス、尿の生成	ヘンダーソン・ハッセルバルヒ、呼吸性調節、腎性調節、緩衝作用、重炭酸系、アシドーシス、アルカローシス、尿の生成	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
11[7/3(木)2時限]【組織系実習室】	腎臓作用薬／【キーワード】利尿薬の作用点と作用機序、薬理作用、電解質輸送	(予習)キーワードを調べておく。(復習)講義時の配布資料を中心に復習する。	【担当者】薬理学・薬物療法学・今村 武史／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(リアルタイム学習))
12[7/9(木)3時限]【組織系実習室】	下部尿路の構造と蓄排尿の機序／【キーワード】尿管、膀胱、尿道、蓄尿、排尿、自律神経支配、抗コリン薬、αブロッカー、β刺激薬	(予習)キーワードを調べておく。(復習)講義時の配布資料を中心に復習する。	【担当者】薬理学・薬物療法学(非常勤講師)・齊藤 源顕／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(オンデマンド学習))

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7208008	ナンバリング /Subject Code	MMBAM3605
科目名 /Subject Name	基礎生殖器学		
英文科目名 /Subject English Name	Basic Medicine (Reproductive System)		
担当教員 /Teacher Name	濱崎 佐和子 ,中根 裕信,椋田 崇生,谷口 文紀,藤本 正伸,西川 涼馬,小山 友香,横田 茂文		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	0.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	濱崎 佐和子(解剖学) 総合研究棟、3階、解剖学講座研究室2		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	月 9:30-12:00		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	0859-38-6023(解剖学) hamasawa@tottori-u.ac.jp		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	モデルコアカリキュラム(令和4年度改訂版)に沿って、生殖器系の基本的な構造と機能を学修し、臨床生殖器学に必要な基盤の構築を目的とする。 具体的には、9回の講義、3回の組織学実習を通して生殖器系の理解に取り組む。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	生殖腺の発生と性分化の過程 男性生殖器の発育の過程 男性生殖器の形態と機能 精巣の組織構造と精子形成の過程 陰茎の組織構造と勃起・射精の機序 女性生殖器の発育の過程 女性生殖器の形態と機能 性周期発現と排卵の機序		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	生殖器系の発生・構造・機能・組織像を説明できる。性差について概説できる。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	解剖学実習(2年次後期)は当科目の基礎知識がある状態で臨むと理解が深まる。		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	プリントを配布します。参考書:〈講義〉人体の正常構造と機能(日本医事新報社)、ラングマン人体発生学(メディカルサイエンスインターナショナル)、〈組織学実習〉Ross組織学(原書7版、内山安男・相磯貞和監訳、南江堂、2019年)		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義:対面形式による一般授業(75%) 組織学実習:バーチャルスライドシステムを用いた個別学習(25%)		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	定期試験(75%)、実習評価(25%:実習課題および実習態度も含む総合評価) 単位認定規則の出席時間不足者は定期試験の受験を認めない。 組織学実習では自分の力で組織像を読み解く力が求められるため、実習への取り組み姿勢を重視し、提出課題とともに評価する。他者の課題を写したものは評価しない。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	組織学実習にはパソコン、色鉛筆(12色程度)を持参のこと。組織系実習室(病理解剖組織系実習室)は総合教育棟の4階にあります。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、人間力(自律性に基づく実行力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	研究者や臨床医がその経験を生かして、生殖器系に関する専門分野の講義・実習を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[5/26(月)1時限]【組織系講義室】	女性生殖器の位置と形態／【キーワード】卵巣、卵管、子宮、膣、大前庭腺、陰核、前庭球、子宮広間膜、卵管膨大部、卵管采、卵管粘膜、ダグラス窩、子宮頸部、膣上部、頸管、外子宮口、子宮内膜、膣円蓋	(予習)キーワードを参考書(人体の正常構造と機能等)で調べる。 (復習)女性生殖器の構成およびそれらを覆う腹膜について理解する。	【担当者】解剖学・濱崎 佐和子／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
2[5/29(木)1時限]【組織系講義室】	女性生殖器の発育の過程・乳房の構造と機能／【キーワード】ウオルフ管、ミュラー管、未分化性腺、睾丸決定因子、SRY、生殖堤、原始生殖細胞、子宮、膣、乳管、乳腺葉、乳腺上皮、乳汁分泌	(予習)キーワードを参考書(人体の正常構造と機能等)で調べる。 (復習)授業で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・女性生殖器の発育の過程を説明できる。 ・乳房の構造と機能、成長発達に伴う変化、乳汁分泌に関するホルモンの作用を説明できる。	【担当者】産科婦人科学・谷口 文紀／ (対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
3[5/29(木)2時限]【組織系講義室】	男性生殖器の位置と形態／【キーワード】精巣、精巣上体、精管、精囊、前立腺、尿道球腺、陰茎、陰囊、精索、陰茎亀頭、陰茎体、陰茎根、陰茎脚、尿道球	(予習)キーワードを参考書(人体の正常構造と機能等)で調べる。 (復習)男性生殖器の構成を理解する。	【担当者】解剖学・濱崎 佐和子／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
4[6/2(月)1時限]【組織系講義室】	陰茎の構造と勃起・射精／【キーワード】陰茎海綿体、尿道海綿体、勃起、ノルアドレナリン、アセチルコリン、一酸化窒素	(予習)キーワードを参考書(人体の正常構造と機能等)で調べる。 (復習)講義プリントから、課題を出し、manabaで提出させる。	【担当者】解剖学(非常勤講師)・中根 裕信／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
5[6/2(月)3時限]【組織系講義室】	男性生殖器の発育の過程／【キーワード】精巣下降、男性ホルモン、精巣容量、精子形成、陰毛の発育	(予習)キーワードを参考書(人体の正常構造と機能等)で調べる。 (復習)講義プリントから、課題を出し、manabaで提出させる。	【担当者】解剖学(非常勤講師)・中根 裕信／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
6[6/9(月)3時限]【組織系講義室】	精巣の組織と精子形成／【キーワード】曲精細管、精巣網、輸出管、白膜、精巣中隔、間質、間細胞、精祖細胞、精母細胞、精娘細胞、精子細胞、精子、セルトリー細胞、アクロゾーム、尖体、カルタゲナー症候群	(予習)キーワードを参考書(人体の正常構造と機能等)で調べる。 (復習)精巣の組織と精子形成を説明できるように、授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】腎泌尿器学・西川 涼馬／ (対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
7[6/12(木)1時限]【組織系講義室】	受精・着床の機序／【キーワード】卵胞発育、減数分裂、受精、初期胚発生、胚盤胞、着床	(予習)キーワードを参考書(人体の正常構造と機能等)で調べる。 (復習)受精、初期胚発生、着床の機序を説明できるように、授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】産科婦人科学・谷口 文紀／ (対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
8[6/12(木)2時限]【組織系講義室】	生殖腺の発生と性分化／【キーワード】未分化性腺、精巣決定遺伝子(SRY)、ミュラー管、ウオルフ管、ミュラー管退縮因子、テストステロン、ジヒドロテストステロン、精巣、卵巣、セルトリー細胞、ライディッヒ細胞、WT-1、Lim-1、SF-1、DAX-1	(予習)キーワードを参考書(ラングマン人体発生学等)で確認しておく。 (復習)講義プリントを再読し、生殖腺の発生と性分化過程について整理する。	【担当者】周産期・小児医学・藤本 正伸／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
9[6/26(木)2時限]【組織系講義室】	性周期発現の機序／【キーワード】FSH、LH、卵胞、卵子、極体、顆粒膜細胞、莢膜細胞、卵胞ホルモン、黄体ホルモン、子宮内膜	(予習)キーワードを参考書(人体の正常構造と機能等)で調べる。 (復習)性周期発現と排卵の機序を説明できるように、授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】産科婦人科学・谷口 文紀／ (対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))

10[7/9(水)4時限]【組織系実習室】	組織学実習1（男性生殖器1）／【キーワード】曲精細管、精巣網、輸出管、白膜、精巣中隔、間質、間細胞、精祖細胞、精母細胞、精子細胞、精子、セルトリ細胞	(予習)講義資料・参考書で調べ、要点を理解する。 (復習)実習書[実習課題も含む]にそって、アトラス・参考書等で確認し、男性生殖器の組織を理解する。	【担当者】解剖学・椋田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
11[7/10(木)1時限]【組織系実習室】	組織学実習2（男性生殖器2）／【キーワード】前立腺石、海綿体、白膜、海綿体小柱、海綿体洞、陰茎深動脈、尿道	(予習)講義資料・参考書で調べ、要点を理解する。 (復習)実習書[実習課題も含む]にそって、アトラス・参考書等で確認し、男性生殖器の組織を理解する。	【担当者】解剖学・椋田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
12[7/10(木)2時限]【組織系実習室】	組織学実習3（女性生殖器）／【キーワード】腹膜、一次卵胞、二次卵胞、顆粒層、透明帯、黄体、卵胞膜、子宮内膜、子宮腺、らせん動脈、機能層、基底層、子宮筋層	(予習)講義資料・参考書で調べ、要点を理解する。 (復習)実習書[実習課題も含む]にそって、アトラス・参考書等で確認し、女性生殖器の組織を理解する。	【担当者】解剖学・椋田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香／ (対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7208010	ナンバリング /Subject Code	MMBAM3606
科目名 /Subject Name	基礎感覚器学		
英文科目名 /Subject English Name	Basic Medicine (Sensory Organ System)		
担当教員 /Teacher Name	海藤 俊行,檜山 武史,近藤 邦生,畠 義郎,松尾 聡,足立 孝司,宮崎 大,椋田 崇生,馬場 高志,山田 七子,矢間 敬章,小山 友香,濱崎 佐和子,吉田 雄一,横田 茂文		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	1.5
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	海藤 俊行(解剖学) 総合研究棟3階 解剖学講座(研究室1)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	月曜日4時限		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	0859-38-6011(解剖学) kaidoh@tottori-u.ac.jp		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	感覚器系(視覚器、平衡聴覚器、味覚器、嗅覚器、皮膚)の構造、機能、発生に関する知識を習得する目的で講義と組織学実習を行う。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	眼球、眼球付属器、外耳・中耳・内耳、味覚器、嗅覚器、皮膚		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	感覚器系の構造、機能、発生に関する知識を修得して、疾患の理解に応用できる。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内			
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	プリントを配布します。		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義、組織学実習		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	感覚器系の構造、機能、発生について理解しているか筆記試験で評価する。感覚器の組織構造を理解しているか組織実習レポートから評価する。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	組織学実習には パソコン、色鉛筆(12色程度)を持参のこと。 組織系実習室は総合教育棟4階にあります。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、人間力(自律性に基づく実行力)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	研究医や臨床医がその経験を生かして、感覚器に関する専門分野の講義・実習を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[6/2(月)5時限]【組織系実習室】	眼球の構造1／【キーワード】角膜、強膜、虹彩、毛様体、水晶体、硝子体、網膜、視神経、眼杯、水晶体胞	〈復習〉講義で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・眼球の組織構造を図示して説明できる。 ・視覚器の発生を理解できる。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))
2[6/9(月)5時限]【組織系実習室】	眼球の構造2／【キーワード】角膜、強膜、虹彩、毛様体、水晶体、硝子体、網膜、視神経	〈予習〉配布資料でキーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉講義で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・眼球の組織構造を図示して説明できる。 ・関連する疾患例について概説できる。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))
3[6/13(金)1時限]【組織系実習室】	皮膚の構造と角化／【キーワード】表皮、真皮、皮下組織、部位による構造の相違、角化	〈復習〉皮膚の組織構造を図示して説明できるよう、講義内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】卒後臨床研修センター・山田 七子／(対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))
4[6/13(金)2時限]【組織系実習室】	皮膚における免疫防御と過敏反応／【キーワード】ケラチノサイト、ランゲルハンス細胞、サイトカイン、リンパ球、遅延型過敏反応、接触皮膚炎、じんま疹	〈復習〉皮膚の免疫防御機能と過敏反応を説明できるよう、講義内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】皮膚科・足立 孝司／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))
5[6/16(月)5時限]【組織系実習室】	眼球付属器の構造／【キーワード】外眼筋、眼瞼、結膜、涙器	〈予習〉配布資料でキーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉講義で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・眼球付属器の構造を説明できる。 ・関連する疾患例について概説できる。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))
6[6/17(火)1時限]【組織系実習室】	皮膚科臨床に役立つ基礎知識／【キーワード】発疹学、皮膚検査法、皮膚病理組織学	〈復習〉皮膚疾患と関連する皮膚の構造・機能や診断における諸検査、病理組織を理解できるよう、講義内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】皮膚科学・吉田 雄一／(対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))
7[6/20(金)2時限]【組織系実習室】	視覚情報の受容／【キーワード】杆体細胞、錐体細胞、神経節細胞、受容器電位、受容野、外側膝状体、単純細胞、複雑細胞	〈予習〉キーワードについて情報収集し、まとめておくこと。 〈復習〉視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できるよう、講義内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】神経科学・畠 義郎／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))
8[6/23(月)1時限]【組織系実習室】	外耳・中耳の構造／【キーワード】耳介、外耳道、鼓膜、鼓室、耳小骨、耳管	〈予習〉配布資料でキーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉講義で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・外耳・中耳の組織構造を図示して説明できる ・関連する疾患例について概説できる	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))
9[6/23(月)3時限]【組織系実習室】	組織学実習1／【キーワード】角膜、強膜、虹彩、毛様体、硝子体、網膜、視神経	〈予習〉これまでの講義資料等でキーワードの組織学的構造を押さえておくこと。 〈復習〉眼球の組織学的構造を図示して説明できるよう、理解を深めること。また、スケッチを完成させること。	【担当者】解剖学・海藤 俊行、棕田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))

10[6/23(月)4時限]【組織系実習室】	組織学実習2／【キーワード】角膜、強膜、虹彩、毛様体、硝子体、網膜、視神経	〈予習〉これまでの講義資料等でキーワードの組織学的構造を押さえておくこと。 〈復習〉眼球の組織学的構造を図示して説明できるよう、理解を深めること。また、スケッチを完成させること。	【担当者】解剖学・海藤 俊行、椋田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
11[6/24(火)1時限]【組織系実習室】	味覚と嗅覚／【キーワード】嗅細胞、嗅覚受容体、嗅球、嗅覚障害、味蕾、味覚受容体、味覚障害	〈予習〉細胞生理学など、これまでの講義資料で味覚・嗅覚についての概要を捉えておくこと。 〈復習〉味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できるよう、講義内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】統合生理学・近藤 邦生／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
12[6/27(金)1時限]【組織系実習室】	皮膚分泌・経皮吸収／【キーワード】皮表脂質、脂腺、エクリン汗腺、アポクリン汗腺、バリア機能、経皮吸収	〈復習〉皮脂分泌・発汗・経皮吸収・バリア機能を説明できるよう、講義内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】卒後臨床研修センター・山田 七子／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
13[6/27(金)2時限]【組織系実習室】	内耳の構造・平衡聴覚器の発生／【キーワード】骨迷路、膜迷路、前庭、半規管、蝸牛、咽頭弓、咽頭溝、咽頭嚢、耳胞	〈予習〉配布資料でキーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉講義で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・内耳の組織構造を図示して説明できる。 ・平衡聴覚器の発生が理解できる。 ・関連する疾患例について概説できる。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
14[6/30(月)3時限]【組織系実習室】	聴覚の受容／【キーワード】音圧レベル、音響インピーダンス、有毛細胞、蝸牛マイクロホン電位、tonotopic organization	〈復習〉聴覚の受容のしくみと伝導路を説明できるよう、講義内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
15[6/30(月)4時限]【組織系実習室】	網膜の電気生理／【キーワード】網膜電図(ERG)、photopicERG、scotopicERG、a波、b波、律動様小波、視細胞、ミュラー細胞、双極細胞、アマクリン細胞	〈復習〉網膜の電気生理学的反応とその意義について理解できるよう、講義内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】眼科・馬場 高志／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
16[7/1(火)1時限]【組織系実習室】	前庭の機能／【キーワード】平衡斑、半規管、前庭神経核、前庭脊髄反射、前庭眼反射、眼振、眼球・頭部協調運動	〈復習〉平衡覚の受容と姿勢制御のしくみを説明できるよう、講義内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
17[7/7(月)5時限]【組織系実習室】	耳鼻科臨床に役立つ基礎知識／【キーワード】聴覚伝導路、標準純音聴力検査、伝音難聴、感音難聴、幼児聴力検査、語音明瞭度検査、聴性脳幹反応(ABR)、チンパノメトリー	〈復習〉耳鼻科疾患との関連で平衡聴覚器の構造・機能を理解できるよう、講義内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】頭頸部診療科群・矢間 敬章／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
18[7/9(水)1時限]【組織系実習室】	組織学実習3／【キーワード】眼瞼、結膜、膜迷路、前庭、半規管、蝸牛	〈予習〉これまでの講義資料等でキーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉眼球付属器と平衡聴覚器の組織学的構造を図示して説明できるよう、理解を深めること。また、スケッチを完成させること。	【担当者】解剖学・海藤 俊行、椋田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
19[7/9(水)2時限]【組織系実習室】	眼球の光学系・運動・反射／【キーワード】水晶体、角膜、ジオプター、眼筋、Edinger-Westphal核、輻輳反射、対光反射、角膜反射	〈復習〉講義で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・眼球の光学系としての特徴を理解できる。 ・眼球運動のしくみ、対光反射・輻輳反射・角膜反射の機能について説明できる。	【担当者】視覚病態学・宮崎 大／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))

20[7/10(木)3時限]【組織系 実習室】	皮膚の発生・感覚器としての機能／【キーワード】皮膚の発生、乳腺の発生、毛、メルケル細胞、マイスネル小体、パチニ小体	〈予習〉配布資料でキーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉講義で学んだ以下の点について理解を深めること。 ・皮膚の発生が理解できる。 ・皮膚の感覚器としての機能・特性が理解できる。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
21[7/10(木)4時限]【組織系 実習室】	眼科臨床に役立つ基礎知識／【キーワード】角膜上皮、角膜内皮、線維柱帯、前房、ぶどう膜、網膜色素上皮、網膜中心動脈、網膜中心静脈、黄斑、視神経乳頭	〈復習〉眼科疾患との関連で眼球の構造・機能を理解できるよう、講義内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】視覚病態学・宮崎 大／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
22[7/11(金)1時限]【組織系 実習室】	組織学実習4／【キーワード】表皮、真皮、皮下組織、マイスネル小体、パチニ小体	〈予習〉これまでの講義資料等でキーワードの組織学的構造を押さえておくこと。 〈復習〉皮膚の組織学的構造を図示して説明できるよう、理解を深めること。またスケッチを完成させること。	【担当者】解剖学・海藤 俊行、棕田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
23[7/11(金)2時限]【組織系 実習室】	組織学実習5／【キーワード】表皮、真皮、皮下組織、マイスネル小体、パチニ小体	〈予習〉これまでの講義資料等でキーワードの組織学的構造を押さえておくこと。 〈復習〉皮膚の組織学的構造を図示して説明できるよう、理解を深めること。またスケッチを完成させること。	【担当者】解剖学・海藤 俊行、棕田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7205035	ナンバリング /Subject Code	MMBAM2602
科目名 /Subject Name	基礎神経学		
英文科目名 /Subject English Name	Basic Medicine (Nervous System)		
担当教員 /Teacher Name	棕田 崇生,檜山 武史,黒崎 雅道,海藤 俊行,坂本 誠,大槻 明広,中曾 一裕,宇野 哲史,足立 正,小山 友香,濱崎 佐和子,横田 茂文		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	2.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	棕田 崇生(解剖学)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	月 9:00～10:00 木 17:00～18:00		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	0859-38-6023		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	モデルコアカリキュラム(令和4年度改訂版)に沿って、神経系の基本的な構造と機能を学修し、神経調節機序の理解および臨床神経学に必要な基盤の構築を目的とする。 具体的には、23回の講義、7回の脳解剖学実習、4回の組織学実習を通して神経系の理解に取り組む。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	脳と脊髄 末梢神経 血管支配と血液脳関門 情報の伝導・伝達路 神経伝達物質 神経作用薬物		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	1)神経系の発生を説明できる。 2)神経系の肉眼構造と組織学的構造及びそれらの機能を説明できる。 3)神経系に働く薬物の作用機序を説明できる。 4)神経系に関する臨床所見を概説できる。 5)脳解剖学実習により、脳の構造と機能を概説できる。 6)組織学実習により、中枢神経系の細胞学及び組織学的構築を概説できる。 7)礼意と畏敬の念をもって脳標本及び組織標本を扱うことができる。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	細胞組織学、細胞生理学、細胞生化学(1年次)で学んだ分子・細胞・組織レベルの生命現象の理解が基盤となる。 神経系と他の器官系との相互連関、薬物作用を理解するために、他の各器官系(基礎〇〇学)および薬理学の理解は欠かせない。 脳解剖学実習で扱わない脊髄や末梢神経系および一部の髄膜については、解剖学実習で学ぶ。		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	臨床神経科学とリハビリテーション (監訳)水野昇ほか、西村書店、2020 ※必要に応じてプリントを配布するが、予習・復習のために教科書および参考書の購入を勧める。 参考書:(脳解剖学実習)ハインズ神経解剖学アトラス 第5版、佐藤仁美(監訳)、メディカルサイエンスインターナショナル (組織学実習)ROSS組織学 原書第7版(南江堂)		

授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義:対面形式による一般授業 脳解剖学実習:複数人によるグループワーク 組織学実習:バーチャルスライドシステムを用いた個別学習	
成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	定期試験(60%)、脳解剖学実習と組織学実習の統合実習試験(40%:実習課題および実習態度も含む総合評価)統合実習試験は5/24(金)に実施予定。 ただし、単位認定規則の出席時間不足者は定期試験の受験を認めない。 再試験は基本的に筆記試験のみで評価する。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	脳解剖学実習で解剖する脳や組織学実習で観察するプレパレートはご献体から得られたものであることをしっかりと認識して実習に臨むこと。礼を失する態度は決して許されない。 脳解剖学実習(5/10、5/13、5/15、5/20)については、進捗状況により授業時間が延長されるので注意すること。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	研究者や臨床医がその経験を生かして、神経系に関する専門分野の講義・実習を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[4/2(水)2時限]【131講義室】	中枢神経系の構成と構造／【キーワード】大脳、中脳、橋、延髄、小脳、脊髄	(予習)1年次の細胞生理学、細胞組織学、細胞生化学の神経系に関する内容を必ず復習しておくこと(教科書p.50-104に該当)。教科書p.1-10、23-49を読み概要を捉えておくこと。 (復習)中枢神経系の構成を概説できるように授業内容をまとめ、理解に努めること。	【担当者】解剖学・椋田 崇生／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
2[4/2(水)3時限]【131講義室】	脳の発生／【キーワード】外胚葉、神経板、神経管、脳胞、基板、翼板、蓋板、底板	(予習)教科書p.10-22を読み概要を捉えておくこと。 (復習)神経管の分化と脳、脊髄、視覚器の形成過程を概説できるように授業内容をまとめ、理解に努めること。	【担当者】解剖学・濱崎 佐和子／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
3[4/4(金)2時限]【131講義室】	脳の髄膜と脳室系の構造と機能・脳脊髄液／【キーワード】硬膜、軟膜、クモ膜、クモ膜顆粒、脳脊髄液、側脳室、第三脳室、第四脳室	(予習)教科書p.10、p.106-108、597-625を読み概要を捉えておくこと。 (復習)髄膜及び脳膜脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できるように授業内容をまとめ、理解に努めること。	【担当者】解剖学・椋田 崇生／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
4[4/9(水)3時限]【131講義室】	大脳の構造と機能／【キーワード】前頭葉、頭頂葉、側頭葉、後頭葉、島葉、基底核、内包、視床、大脳白質(投射線維、連合線維、交連線維)、視床放線運動野、感覚野、言語野(ブローカ野、ウェルニッケ野)、連合野	(予習)教科書p.154-176、483-548を読み概要を捉えておくこと。 (復習)大脳皮質の構造および大脳皮質の機能局在を説明できるように授業内容をまとめ、理解に努めること。	【担当者】解剖学・小山 友香／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
5[4/9(水)4時限]【131講義室】	大脳基底核の構造と機能／【キーワード】基底核、線条体、尾状核、被殻、淡蒼球、レンズ核、視床下核、扁桃核、黒質、海馬、パペッツ回路	(予習)教科書p.154-176、461-482を読み概要を捉えておくこと。 (復習)大脳基底核、海馬、黒質の構造と機能を説明できるように授業内容をまとめ、理解に努めること。	【担当者】解剖学・小山 友香／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
6[4/11(金)2時限]【131講義室】	間脳の構造と伝導路・機能／【キーワード】視床(背側視床)、視床亜核、視床後部(外側膝状体、内側膝状体)、視床放線、ヤコブレフ回路、クリューバー・ビューシー症候群、視床下核(ルイ体:腹側視床)、松果体(視床上部)、視床下部、海馬、パペッツ回路	(予習)教科書p.130-144、501-548を読み概要を捉えておくこと。 (復習)間脳(視床を中心)の構造と機能を説明できるように授業内容をまとめ、理解に努めること。	【担当者】解剖学・椋田 崇生／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

7[4/11(金)3時限]【131講義室】	視床下部の構造と機能 ストレス反応と本能・ 情動行動／【キーワード】視床下部一下垂 体系、乳頭体、視索上核、室傍核、ホルモン 分泌、本能、情動、海馬、扁桃核、辺縁系、 視床下部(室房核)、脳室周囲器官	(予習)教科書p.136-144を読み概要 を捉えておくこと。 (復習)視床下部の構造と機能を内 分泌及び自律神経機能と関連づけ て概説でき、また、ストレス反応と本 能・情動行動の発現機序を概説でき るように授業内容をまとめ、理解に 努めること。	【担当者】解剖学・棕田 崇生／(対 面可:対面、対面不可:パターン2遠隔 (オンデマンド学習))
8[4/11(金)4時限]【131講義室】	脳幹の構造と伝導路・ 機能／【キーワード】中脳、橋、延髄、黒質、 大脳脚、青斑核、小脳脚、橋核、下オリーブ 核、錐体、脳幹網様体、意識、マゲーンの脳 幹網様体賦活系、呼吸中枢、循環中枢、眼 球運動	(予習)教科書p.31-36、124-129を読 み概要を捉えておくこと。 (復習)脳幹の構造と伝導路および 機能を概説できるように授業内容を まとめ、理解に努めること。	【担当者】麻酔・集中治療医学・大槻 明広／(対面可:対面、対面不可:パ ターン2遠隔(オンデマンド学習))
9[4/16(水)3時限]【131講義室】	脊髄の構造と機能／【キーワード】頸髄、胸 髄、腰髄、仙髄、前角、後角、側索、前索	(予習)教科書p.23-31、106-129を読 み概要を捉えておくこと。 (復習)脊髄の構造、機能局在と伝 導路を説明できるように授業内容を まとめ、理解に努めること。	【担当者】脳神経外科学・宇野 哲史 ／(対面可:対面、対面不可:パター ン2遠隔(オンデマンド学習))
10[4/16(水)4時限]【131講義室】	小脳の構造と機能／【キーワード】プルキン エ細胞、顆粒細胞、小脳歯状核、登上線 維、苔状線維、平行線維	(予習)教科書p.144-153、173-174 を読み概要を捉えておくこと。 (復習)小脳の構造と機能を概説で きるように授業内容をまとめ、理解に 努めること。	【担当者】神経病理学・足立 正／ (対面可:対面、対面不可:パター ン2遠隔(オンデマンド学習))
11[4/18(金)3時限]【131講義室】	脳・脊髄の血管系・支配領域と血液脳関門 ／【キーワード】ウィリス動脈輪、前大脳動 脈、中大脳動脈、後大脳動脈、椎骨・脳底動 脈、前交通動脈、後交通動脈、血液脳関門	(予習)教科書p.115-118、151-153、 168-176、566-596、612-625を読み 概要を捉えておくこと。 (復習)脳の血管支配と血液脳関門 を説明できるように授業内容をまと め、理解に努めること。	【担当者】脳神経外科学・坂本 誠／ (対面可:対面、対面不可:パター ン2遠隔(オンデマンド学習))
12[4/18(金)4時限]【131講義室】	脳内神経伝達物質／【キーワード】ドーパミ ン、ノルアドレナリン、アセチルコリン、セロト ニン、ヒスタミン、グルタミン酸、GABA、神経 ペプチド、受容体、アゴニスト、アンタゴニ スト	(予習)教科書p.81-104、549-564お よび配布した資料で概要を捉えてお くこと。 (復習)主な脳内神経伝達物質とそ の作用を説明できるように授業内容 をまとめ、理解に努めること。	【担当者】生化学・中曾 一裕／(対 面可:対面、対面不可:パターン2遠隔 (オンデマンド学習))
13[4/23(水)3時限]【131講義室】	脳内神経伝達物質／【キーワード】ドーパミ ン、ノルアドレナリン、アセチルコリン、セロト ニン、ヒスタミン、グルタミン酸、GABA、神経 ペプチド、受容体、アゴニスト、アンタゴニ スト	(予習)教科書p.81-104、549-564お よび配布した資料で概要を捉えてお くこと。 (復習)主な脳内神経伝達物質とそ の作用を説明できるように授業内容 をまとめ、理解に努めること。	【担当者】生化学・中曾 一裕／(対 面可:対面、対面不可:パターン2遠隔 (オンデマンド学習))

14[4/23(水)4時限]【131講義室】	中枢神経作用薬／【キーワード】パーキンソン病、アルツハイマー病、てんかん、ドーパミン、ドーパミン受容体、アセチルコリン、アセチルコリンエステラーゼ、GABA、グルタミン酸	(予習)教科書p.99-104、549-564および配布した資料で概要を捉えておくこと。 (復習)中枢神経作用薬(パーキンソン病薬、アルツハイマー病薬、抗てんかん薬ほか)の薬理機序を説明できるように授業内容をまとめ、理解に努めること。	【担当者】生化学・中曽 一裕／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
15[4/25(金)1時限]【131講義室】	中枢神経作用薬／【キーワード】統合失調症、うつ病、不眠、不安、ドーパミン、セロトニン、三環系・四環系抗うつ薬、SSRI、ベンゾジアゼピン類、中枢神経興奮薬、幻覚剤、薬物依存	(予習)教科書p.549-564および配布した資料で概要を捉えておくこと。 (復習)中枢神経作用薬(抗精神病薬、抗うつ薬、抗不安薬、中枢神経興奮薬ほか)の薬理機序を説明できるように授業内容をまとめ、理解に努めること。	【担当者】生化学・中曽 一裕／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
16[4/25(金)2時限]【131講義室】	末梢神経系の構成と構造 自律神経系の構成と分布／【キーワード】脳神経、脊髄神経、自律神経、交感神経、副交感神経、節前ニューロン、節後ニューロン、コリン作動性線維、アドレナリン作動性線維	(予習)教科書p.269-288を読み概要を捉えておくこと。 (復習)末梢神経系の構成、交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できるように授業内容をまとめ、理解に努めること。	【担当者】統合生理学・檜山 武史／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
17[4/30(水)3時限]【131講義室】	脳神経の分布と機能／【キーワード】嗅神経、視神経、動眼神経、滑車神経、三叉神経、外転神経、顔面神経、内耳神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経	(予習)教科書p.290-318を読み概要を捉えておくこと。 (復習)脳神経の名称、神経核の局在、走行・分布と機能を概説できるように授業内容をまとめ、理解に努めること。	【担当者】解剖学・横田 茂文／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
18[4/30(水)4時限]【131講義室】	脊髄神経の分布と機能／【キーワード】頸神経叢、腕神経叢、運動神経の骨格筋支配、感覚神経の皮膚分布領域	(予習)教科書p.23-32および配布した資料で概要を捉えておくこと。 (復習)脊髄神経と頸腕神経叢、腕神経叢の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布を概説できるように授業内容をまとめ、理解に努めること。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
19[5/7(水)3時限]【131講義室】	脊髄神経の分布と機能／【キーワード】腰神経叢、仙骨神経叢、運動神経の骨格筋支配、感覚神経の皮膚分布領域	(予習)教科書p.23-32および配布した資料で概要を捉えておくこと。 (復習)脊髄神経と腰神経叢、仙骨神経叢の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布を概説できるように授業内容をまとめ、理解に努めること。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
20[5/7(水)4時限]【131講義室】	感覚情報の伝達／【キーワード】表在感覚受容体(マイスネル小体、パチニ小体、メルケル細胞、自由神経終末、柵状神経終末)、深部受容器(筋紡錘、腱紡錘)、脊髄視床路、後索-内側毛帯路、三叉神経による感覚性伝導路	(予習)教科書p.177-225、319-338および配布した資料で概要を捉えておくこと。 (復習)表在感覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できるように授業内容をまとめ、理解に努めること。	【担当者】解剖学・棕田 崇生／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

21[5/9(金)3時限]【131講義室】	運動情報の伝達／【キーワード】錐体路(皮質核路、皮質脊髓路)、一次ニューロン、二次ニューロン、錐体交差、ベッツ細胞、脳幹運動核、脊髄前角細胞	(予習)教科書p.177-268および配布した資料で概要を捉えておくこと。 (復習)随意運動の発現機構を錐体路を中心として概説できるように授業内容をまとめ、理解に努めること。	【担当者】神経病理学・足立 正／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
22[5/9(金)4時限]【131講義室】	手術のための脳局所解剖／【キーワード】脳神経外科手術、脳局所解剖	(予習)これまでの学習内容を見直ししておくこと。 (復習)脳局所解剖および術中所見が理解できるように授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】脳神経外科学・黒崎 雅道／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
23[5/12(月)3時限]【組織系実習室】	脳神経内科関連講義／【キーワード】アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脳梗塞	(予習)これまでの学習内容を見直ししておくこと。 (復習)神経疾患の概要について説明できるように授業内容をまとめ、理解を深めること。	【担当者】神経病理学・足立 正／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
24[5/12(金)4時限]【解剖学実習室】	脳解剖学実習1／【キーワード】大脳、前頭葉、側頭葉、頭頂葉、後頭葉、運動野、感覚野、ブローカ言語野、ウェルニッケ言語野、中心溝、外側溝、頭頂後頭溝、後頭前切痕、鳥距溝	(予習)講義の該当資料とハインズ神経解剖学アトラスを参考にして、脳の概観と立体構造の理解に努めること。頭蓋腔におさまる脳の観察に備えて、脳部位や脳神経と髄膜および内頭蓋底との関連を整理しておくこと。 (復習)実習課題に取り組みつつ、授業で配布した実習書の内容を講義資料および参考書の図版等で再度確認し、理解に努めること。	【担当者】解剖学・椋田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香、神経病理学・足立 正／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
25[5/12(月)5時限]【解剖学実習室】	脳解剖学実習2／【キーワード】脳底部、中脳、橋、延髄、延髄錐体、下オリーブ核、マジャンディ孔、ルシュカ孔、脳神経	(予習)講義の該当資料とハインズ神経解剖学アトラスを参考にして、脳の概観と立体構造の理解に努めること。頭蓋腔におさまる脳の観察に備えて、脳部位や脳神経と髄膜および内頭蓋底との関連を整理しておくこと。 (復習)実習課題に取り組みつつ、授業で配布した実習書の内容を講義資料および参考書の図版等で再度確認し、理解に努めること。	【担当者】解剖学・椋田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香、神経病理学・足立 正／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
26[5/14(水)3時限]【解剖学実習室】	脳解剖学実習3／【キーワード】ウィリス動脈輪、脳冠状断、脳水平断、側脳室、第三脳室、第四脳室、モンロー孔、脳幹離断	(予習)講義の該当資料とハインズ神経解剖学アトラスを参考にして、脳の概観と立体構造の理解に努めること。頭蓋腔におさまる脳の観察に備えて、脳部位や脳神経と髄膜および内頭蓋底との関連を整理しておくこと。 (復習)実習課題に取り組みつつ、授業で配布した実習書の内容を講義資料および参考書の図版等で再度確認し、理解に努めること。	【担当者】解剖学・椋田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香、神経病理学・足立 正／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

27[5/14(水)4時限]【解剖学実習室】	脳解剖学実習4／【キーワード】被殻、尾状核、淡蒼球、松果体、前障、レンズ核、前交連、後交連、脳梁、脳弓、脈絡叢	(予習)講義の該当資料とハインズ神経解剖学アトラスを参考にして、脳断面で見られる内部構造を確認し、これらの立体構造上の位置や相互連絡等の理解に努めること。 (復習)実習課題に取り組みつつ、授業で配布した実習書の内容を講義資料および参考書の図版等で再度確認し、理解に努めること。	【担当者】解剖学・棕田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香、神経病理学・足立 正／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
28[5/14(水)5時限]【解剖学実習室】	脳解剖学実習5／【キーワード】視床、視床下部、乳頭体、視床下核、外側膝状体、半卵円中心、内包、外包、最外包、前障、島回、辺縁葉、海馬、海馬傍回、扁桃体	(予習)講義の該当資料とハインズ神経解剖学アトラスを参考にして、脳断面で見られる内部構造を確認し、これらの立体構造上の位置や相互連絡等の理解に努めること。 (復習)実習課題に取り組みつつ、授業で配布した実習書の内容を講義資料および参考書の図版等で再度確認し、理解に努めること。	【担当者】解剖学・棕田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香、神経病理学・足立 正／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
29[5/19(月)3時限]【解剖学実習室】	脳解剖学実習6／【キーワード】中脳、黒質、赤核、上丘、下丘、中脳水道、中脳水道周囲灰白質、大脳脚、橋、青斑核、橋縦束、橋横走線維、上小脳脚、中小脳脚、下小脳脚	(予習)講義の該当資料とハインズ神経解剖学アトラスを参考にして、脳断面で見られる内部構造を確認し、これらの立体構造上の位置や相互連絡等の理解に努めること。 (復習)実習課題に取り組みつつ、授業で配布した実習書の内容を講義資料および参考書の図版等で再度確認し、理解に努めること。	【担当者】解剖学・棕田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香、神経病理学・足立 正／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
30[5/19(月)4時限]【解剖学実習室】	脳解剖学実習7／【キーワード】延髄、延髄錐体、下オリーブ核、小脳、小脳冠状断、小脳矢状断、小脳虫部、小脳半球、小脳歯状核	(予習)講義の該当資料とハインズ神経解剖学アトラスを参考にして、脳断面で見られる内部構造を確認し、これらの立体構造上の位置や相互連絡等の理解に努めること。 (復習)実習課題に取り組みつつ、授業で配布した実習書の内容を講義資料および参考書の図版等で再度確認し、理解に努めること。	【担当者】解剖学・棕田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香、神経病理学・足立 正／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
31[5/21(水)3時限]【組織系実習室】	組織学実習1／【キーワード】大脳皮質(運動皮質・Betz細胞)	(予習)講義の該当資料とRoss組織学p.356-403の内容を見直し、要点をあらかじめまとめておくこと。 (復習)実習課題に取り組みつつ、授業で配布した実習書の内容を各自キャプチャーした組織像や教科書の図版等で再度確認し、理解に努めること。	【担当者】解剖学・棕田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香、神経病理学・足立 正／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

32[5/21(水)4時限]【組織系実習室】	組織学実習2／【キーワード】海馬、被殻、淡蒼球(外節・内節)、視床、内包、外包、最外包、前障、島回	(予習)講義の該当資料とRoss組織学p.356-403の内容を見直し、要点をあらかじめまとめておくこと。 (復習)実習課題に取り組みつつ、授業で配布した実習書の内容を各自キャプチャーした組織像や教科書の図版等で再度確認し、理解に努めること。	【担当者】解剖学・椋田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香、神経病理学・足立 正／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
33[5/23(金)3時限]【組織系実習室】	組織学実習3／【キーワード】中脳(上丘、中脳水道、中脳水道周囲灰白質、動眼神経核、黒質、赤核、大脳脚)、橋(橋核、青斑核、橋縦束、橋横走線維)	(予習)講義の該当資料とRoss組織学p.356-403の内容を見直し、要点をあらかじめまとめておくこと。 (復習)実習課題に取り組みつつ、授業で配布した実習書の内容を各自キャプチャーした組織像や教科書の図版等で再度確認し、理解に努めること。	【担当者】解剖学・椋田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香、神経病理学・足立 正／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
34[5/23(金)4時限]【組織系実習室】	組織学実習4／【キーワード】延髄(舌下神経核、迷走神経背側核、内側毛帯、下オリーブ核、延髄錐体)、小脳(Purkinje細胞、顆粒細胞、小脳歯状核)、脊髓(頸髄、胸髄、腰髄、前角細胞)・統合実習試験	(予習)講義の該当資料とRoss組織学p.356-403の内容を見直し、要点をあらかじめまとめておくこと。 (復習)実習課題に取り組みつつ、授業で配布した実習書の内容を各自キャプチャーした組織像や教科書の図版等で再度確認し、理解に努めること。	【担当者】解剖学・椋田 崇生、横田 茂文、濱崎 佐和子、小山 友香、神経病理学・足立 正／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7205034	ナンバリング /Subject Code	MMBAM2603
科目名 /Subject Name	基礎内分泌・代謝学		
英文科目名 /Subject English Name	Basic Medicine (Endocrine System and Metabolism)		
担当教員 /Teacher Name	檜山 武史,近藤 邦生,難波 範行,海藤 俊行,椋田 崇生,谷口 文紀,大倉 毅,小山 友香,濱崎 佐和子,横田 茂文		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	通年
講義室 /Room		科目区分 /Room	専門科目
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form	一般講義	単位数 /Lecture Form	0.0
準備事項 /Matter of Prepare	『ギヤノン生理学』原書26版(丸善出版、2022年)、『ROSS組織学』(組織学実習)等を参考に、予習しておく。講義では、この他に『症例問題から学ぶ生理学』(丸善出版)を使用する。		
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	檜山 武史(統合生理学)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	月曜日17時～18時		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	E-mail: hiyama@tottori-u.ac.jp(統合生理学 檜山) オフィスアワー以外の時間でも対応可能です。できれば事前に連絡してください。		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	生理学の範囲で学ぶ内分泌、栄養代謝の基本事項についてしっかり身に着け、臨床内分泌・代謝学へつなげる。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	ホルモン、受容体、フィードバック調節、視床下部一下垂体系		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	1) 内分泌系の発生と構造を説明できる、2) 内分泌系の機能を説明できる、3) 内分泌系の病態生理学を説明できる		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	内分泌は、あらゆる臓器、疾患に関わる総合的な体系です。他のすべての科目と関連してきます。		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	ギヤノン生理学原書26版(丸善出版、2022年)、ROSS組織学(組織学実習)		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義(90%)と発表(プレゼンテーション)を含むグループ演習(10%)		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	定期試験 75%、小テスト及びレポート25%	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	内分泌・代謝学はあらゆる臓器、あらゆる疾患に関わってくる非常に重要な学問です。ホルモンと呼ばれるシグナル分子を介して、離れた臓器がコミュニケーションをとっている様子を学びます。時間的制約から、講義では、主な内分泌臓器を中心に学びますが、実際には、あらゆる臓器がホルモンを分泌して多臓器間の情報ネットワークを形成しているのです。 ホルモンは、ごく微量でも大きな影響を及ぼします。体内の微量なホルモンの検出は難しく、最近の技術的進歩によって初めて見つかった物も少なくありません。まだまだ次々と新しい発見が相次いでいる領域なのです。教科書に載っている通りいっぺんの知識だけでは足りないの、学会に参加したり文献を読んで、一生勉強を続けてください。本講義は、その導入に過ぎません。 ホルモンの作用は、分泌した臓器から遠く離れたところに現れることが多いです。内分泌臓器の疾患であっても、そのものが痛みを発することはなく、遠く離れたところに異常が現れるのです。例えば、喉にある甲状腺の疾患が目の異常につながったり、脳の損傷が不妊や顔の変形となって現れたりするのです。長時間かかって、少しずつ作用が現れたり、全身に症状が現れることも多いので、よけいに気づきににくいのです。 原因がわからないので、患者さんはどの診療科を受診すれば良いかわからず、また、症状が表れた診療科に行っても、その部位には異常は見つからないために原因不明のまま長い間苦しむ例もあるのです。そこで、患者の全身症状や長期にわたる変化を追うことを中心に据える地域医療、総合診療において、内分泌学の知識がたいへん重要になります。また、患者さんが、どの診療科に来るかかわからない以上、すべての診療科の医師に内分泌疾患の知識が必要になります。 午後の解剖実習と並行して行うため、予習復習の時間をとることが難しくなるおそれがあります。講義が始まる前の夏季休暇の間に予習しておくことを強く薦めます。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	研究者・臨床医がその経験を生かして、内分泌器に関する専門分野の講義・実習を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1 [9/16 (火) 2時限]【323講義室】	内分泌学総論／【キーワード】タンパクホルモン、ステロイドホルモン、アミンホルモン、標的器官、受容体、cyclic AMP、adenylyl cyclase、DNA、mRNA、フィードバック調節、視床下部－下垂体系	(予習)当該授業部分の教科書を読んでおくこと(ギヤノン生理学16章、17章、18章)。 (復習)講義後には教科書および配布資料の概要・ポイント等をまとめ、復習すること。	【担当者】統合生理学・檜山武史／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
2 [9/17 (水) 1時限]【323講義室】	ストレスと感情の神経内分泌 1	(予習)ストレスと神経内分泌について調べておくこと。 (復習)講義で学んだ内容及び感想をレポートにして提出すること。	【担当者】統合生理学(非常勤、自治医科大学)・尾仲達史／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
3 [9/17 (水) 2時限]【323講義室】	ストレスと感情の神経内分泌 2	(予習)ストレスと神経内分泌について調べておくこと。 (復習)講義で学んだ内容及び感想をレポートにして提出すること。	【担当者】統合生理学(非常勤、自治医科大学)・尾仲達史／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
4 [9/18 (木) 2時限]【323講義室】	視床下部・下垂体／【キーワード】視床下部、下垂体門脈系、下垂体前葉、成長ホルモン、インスリン様成長因子、骨成長、体組成維持	(予習)当該部分の教科書を読んでおくこと(ギヤノン生理学17章、18章)。 (復習)講義後は教科書および配布資料の概要・ポイントを復習すること。	【担当者】周産期・小児医学・難波範行／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
5 [9/19 (金) 2時限]【323講義室】	甲状腺刺激ホルモンと甲状腺ホルモン／【キーワード】甲状腺、濾胞上皮細胞、サイロキシニン、トリヨードサイロニン、サイログロブリン、TRH、TSH、Na ⁺ /I ⁻ 共輸送体	(予習)当該授業部分の教科書を読んで概要を捉えておくこと(ギヤノン生理学20章)。 (復習)講義後には教科書・講義内容に沿って、復習すること。	【担当者】統合生理学・檜山武史／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
6 [9/22 (月) 2時限]【323講義室】	消化管ホルモンと栄養代謝／【キーワード】ガストリン、グレリン、ソマトスタチン、セクレチン、インクレチン、(GIP、GIP-1)、コレシストキニン、PYY/PPY、VIP/PACAP、サブスタンスP、ニューロテンシン、グアニリン、視床下部、糖・脂質代謝、摂食、自律神経、レプチン、インスリン、消化管ホルモン、肥満、糖尿病、炎症、寿命	(予習)当該授業部分の教科書を読んで概要を捉えておくこと(ギヤノン生理学25章、26章、27章、28章)。 (復習)講義後には教科書・講義内容に沿って、復習すること。	【担当者】統合生理学・近藤邦生／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
7 [9/24 (水) 2時限]【323講義室】	ランゲルハンス島／【キーワード】インスリン、グルコース取り込みの促進、グリコーゲン合成、タンパク合成、脂肪分解の抑制、グルカゴン、血糖値上昇作用、脂肪分解、ソマトスタチン、膵ポリペプチド	(予習)授業のキーワードを用いて教科書(例:ギヤノン生理学24章)を予習する。 (復習)講義後は配布資料及び教科書を用いて復習すること。	【担当者】循環器・内分泌代謝内科学・大倉毅／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
8 [9/25 (木) 2時限]【323講義室】	性ホルモン／【キーワード】アンドロジェン、エストロジェン、プロゲステロン、コレステロール、LH、FSH、GnRH、精子形成、男性化、性周期、卵巣、子宮内膜、女性化	(予習)当該授業部分の教科書を読んでおくこと(ギヤノン生理学22章、23章)。 (復習)講義後も講義内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をレポート等にまとめるなど、復習に励むこと。	【担当者】産科婦人科学・谷口文紀／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))
9 [9/26 (金) 2時限]【323講義室】	副腎髄質と副腎皮質／【キーワード】副腎皮質、糖質コルチコイド系、タンパク分解、糖新生、免疫抑制、ストレス、電解質コルチコイド系、Na ⁺ 再吸収、レニン－アンジオテンシン－アルドステロン系、副腎アンドロゲン系	(予習)当該授業部分の教科書を読んでおくこと(ギヤノン生理学19章)。 (復習)講義後には教科書・講義内容に沿って、復習すること。	【担当者】統合生理学・檜山武史／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

10 [9/29 (月) 1時限]【病理解剖組織系実習室(組織学実習室)】	組織学実習(1)／【キーワード】下垂体、前葉、後葉、副腎髄質、副腎皮質、球状層、束状層、網状層、精巣、卵巣	(予習)講義の該当資料とROSS組織学p.742-789の内容を見直し、要点をあらかじめまとめておくこと。 (復習)実習課題に取り組みつつ、授業で配布した実習書の内容を各自キャプチャーした組織像や教科書の図版等で再度確認し、理解に努めること。	【担当者】解剖学・海藤俊行 棕田崇生 小山友香 濱崎佐和子／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
11 [9/29 (月) 2時限]【病理解剖組織系実習室(組織学実習室)】	組織学実習(2)／【キーワード】甲状腺、濾胞細胞、コロイド、傍濾胞細胞、副甲状腺、ランゲルハンス島、B細胞、A細胞、D細胞	(予習)講義の該当資料とROSS組織学p.742-789の内容を見直し、要点をあらかじめまとめておくこと。 (復習)実習課題に取り組みつつ、授業で配布した実習書の内容を各自キャプチャーした組織像や教科書の図版等で再度確認し、理解に努めること。	【担当者】解剖学・海藤俊行 棕田崇生 小山友香 濱崎佐和子／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
12 [9/30 (火) 2時限]【323講義室】	カルシウムとリン代謝と骨／【キーワード】甲状腺ホルモン、熱産生、タンパク合成(成長)、血糖上昇、脳・心臓刺激作用、濾胞傍細胞(傍濾胞細胞)、カルシトニン、血中Caイオン低下作用、副甲状腺、パロトルモン、血中Caイオン上昇作用、ビタミンD、骨、腎臓、腸管	(予習)当該授業部分の教科書を読んで概要を捉えておくこと(ギヤノン生理学21章)。 (復習)講義後には教科書・講義内容に沿って、復習すること。	【担当者】統合生理学・檜山武史／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習))

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7205038	ナンバリング /Subject Code	MMBAM2604
科目名 /Subject Name	基礎血液学		
英文科目名 /Subject English Name	Basic Medicine (Blood)		
担当教員 /Teacher Name	中留 真人,海藤 俊行,松尾 聡,植木 賢,高野 周一		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	0.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note	パソコン(モバイル)を毎回持参して下さい。		
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	中留 真人(法医学) 総合研究棟、7階、法医学分野		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	水曜日3時限		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	法医学分野 TEL: 0859-38-6123するか、 nakatome@tottori-u.ac.jpへ連絡して下さい。 件名に科目名・曜日・時限、本文に学生番号・氏名を必ず記載すること。		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	血液学の基礎的知識を身につけると同時に、採血の手技及び血液型の検査法などについても学ぶ。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	赤血球、白血球、血小板、採血手技、血液型検査法		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	1)血液の組成と機能を理解する、2)血液型について理解し、ABO式血液型及びRh式血液型が判定できる、3)シミュレータを用いて採血の手技を身につける。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	後に履修する臨床血液学との関連性も深いので、しっかり基本的事項を習得して下さい。		
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	病気が見えるVol.5血液 他(参考資料をmanaba提示あるいは配布予定)		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	講義(70%)及び実習(30%)等		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	定期試験 100%(ただし、状況次第では小テストやレポートで評価する場合あり)	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	臨床診断にも重要な血液についての理解を深めてもらいたい。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	研究者としての医師がその実務経験を活かし、各自の専門分野に関する講義又は実習を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[4/1(火)1時限]【131講義室】	血球の分類／【キーワード】赤血球、白血球、血小板	〈復習〉血球の分類、赤血球の形態、白血球の種類と機能、血小板の構造を説明できるよう、理解を深めること。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
2[4/1(火)3時限]【131講義室】	リンパ器官の構造と機能／【キーワード】一次リンパ器官、二次リンパ器官、リンパ節、脾臓、腸管関連リンパ組織、扁桃、パイエル板	〈予習〉配布資料でキーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉胸腺、リンパ節、脾臓、腸管関連リンパ組織(扁桃、Peyer板)の構造と機能を説明できるよう、理解を深めること。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
3[4/1(火)4時限]【131講義室】	血漿タンパク質の種類と機能／【キーワード】血漿タンパク質、アルブミン、グロブリン、フィブリノゲン	(予習)教科書等でキーワードを調べる。 (復習)配布資料の問題を解く。血漿タンパク質の種類と機能を説明できるようにする。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
4[4/8(火)1時限]【131講義室】	赤血球とヘモグロビン／【キーワード】赤血球、ヘモグロビン、ボーア効果、酸素解離曲線	(予習)教科書等でキーワードを調べる。 (復習)配布資料の問題を解く。赤血球とヘモグロビンの機能を説明できるようにする。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
5[4/8(火)3時限]【131講義室】	血小板と止血／【キーワード】一次止血、血小板凝集、von Willebrand因子、アラキドン酸カスケード	(予習)教科書等でキーワードを調べる。 (復習)配布資料の問題を解く。血小板の機能と止血の機序を説明できるようにする。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
6[4/8(火)4時限]【131講義室】	凝固と線溶／【キーワード】内因系凝固、外因系凝固、プロテインC、アンチトロンビン、繊維素溶解、プラスミノゲン、t-PA	(予習)教科書等でキーワードを調べる。 (復習)配布資料の問題を解く。凝固と線溶の機序を説明できるようにする。	【担当者】適応生理学・松尾 聡／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
7[4/15(火)1時限]【131講義室】	骨髄／【キーワード】骨髄、造血、幹細胞	〈予習〉配布資料でキーワードの内容について概要を捉えておくこと。 〈復習〉骨髄の構造、造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を概説できるよう、理解を深めること。	【担当者】解剖学・海藤 俊行／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))
8[4/15(火)3時限]【総合教育棟2階機能系実習室】	採血の方法 シミュレータによる採血実習／【キーワード】採血法、採血の合併症、採血管の種類	採血の手順を覚えること。採血手技習得が不十分な場合は復習としてシミュレータにて練習すること。	【担当者】医学教育学・植木 賢、花木武彦、消化器・小児外科学分野・高野 周一／法医学・中留 真人(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
9[4/15(火)4時限]【総合教育棟2階機能系実習室】	採血の方法 シミュレータによる採血実習／【キーワード】採血法、採血の合併症、採血管の種類	採血の手順を覚えること。採血手技習得が不十分な場合は復習としてシミュレータにて練習すること。	【担当者】医学教育学・植木 賢、花木武彦、消化器・小児外科学分野・高野 周一／法医学・中留 真人(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
10[4/22(火)1時限]【131講義室】	血液型及び検査法／【キーワード】ABO式血液型、Rh式血液型、MNSs式血液型、Lewis式血液型、分泌型・非分泌型、DNA多型、凝集素吸収試験、凝集素解離試験、電気泳動法、交差適合試験、不規則抗体スクリーニング	当該授業部分の教科書を熟読すること(1時間)。また講義後も、当日の概要・ポイント等をレポート等にまとめるなど(1時間)、復習に励むこと。	【担当者】法医学・中留 真人／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習))

11[4/22(火)3時限]【感染症・生化学実習室】	基礎血液学実習／【キーワード】ABO式血液型判定、Rh式血液型判定	当該実習部分の教科書を熟読すること(1時間)。また実習後も、当日の概要・ポイント等をレポート等にまとめるなど(1時間)、復習に励むこと。	【担当者】法医学・中留 真人／(対面可:対面、対面不可:ハターン1遠隔(資料・課題学習))
12[4/22(火)4時限]【感染症・生化学実習室】	基礎血液学実習／【キーワード】ABO式血液型判定、Rh式血液型判定	当該実習部分の教科書を熟読すること(1時間)。また実習後も、当日の概要・ポイント等をレポート等にまとめるなど(1時間)、復習に励むこと。	【担当者】法医学・中留 真人／(対面可:対面、対面不可:ハターン1遠隔(資料・課題学習))

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7207137	ナンバリング /Subject Code	MMBAM3301
科目名 /Subject Name	基礎医学実習		
英文科目名 /Subject English Name	Basic Medicine (Practicum)		
担当教員 /Teacher Name	中曾 一裕,檜山 武史,今村 武史,堀越 洋輔,市原 克則,井上 武,松尾 聡,三明 淳一郎,木場 智史,エゾモ オジェイル,澤野 達哉,吉村 祐貴		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	
曜日・時限 /Week・Hour	火 3, 火 4, 水 3, 水 4, 木 3, 木 4, 金 3, 金 4	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form		単位数 /Lecture Form	1.5
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	(生化学・科目責任者) 中曾一裕, 堀越洋輔, 加藤優吾, 柏木明子 (統合生理学) 檜山武史, 近藤邦生, 吉村佑貴, 永田克己 (適応生理学) 松尾 聡, 井上 武, Ezomo Felix Ojeiru (薬理学・薬物治療学) 今村武史, 三明淳一郎, 長田佳子, 市原克則, 澤野達哉 (ゲノム医療学) 中村貴史, 黒崎 創, 中武大夢 (再生医療学) 難波大輔, 土谷博之, 経遠智一, 板場則子		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	平日 13~17時		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	0859-38-6153 (生化学) 0859-38-6033(統合生理学) 0859-38-6043(適応生理学) 0859-38-6163(薬理学・薬物治療学) 0859-38-6422(ゲノム医療学) 0859-38-6435(再生医療学)		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内			
キーワード /Keywords /4000文字以内	1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10.PCR法によるウイルス遺伝子の検出		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	1) 実験の手技を身につける。 2)実験の組み立て方を身につける。 3)各実習の意義を説明できる、4)各実習で得られたデータを解釈し、説明できる。 5)各実習で得られたデータをもとに発表し、討論できる、6)実験動物への愛護精神を身につける。 習得した手技を様々な研究に応用できる		

他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	各担当分野の講義で使用されている教科書・参考書やプリント等
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	実習(課題により各3～12人の班に分かれて実施)
成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	実習科目であるので、全出席を原則とする。 授業・実習態度(50%)、レポート(30%)、発表会での発表・質疑応答など(20%)により評価する。
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	実習書は説明会の時に配布する(全員出席のこと。遅刻をしないこと。これも出席に含める)。 (生化学・科目責任者) 中曽一裕, 堀越洋輔, 加藤優吾, 柏木明子 (統合生理学) 檜山武史, 近藤邦生, 吉村佑貴, 永田克己 (適応生理学) 松尾 聡, 井上 武, Ezomo Felix Ojeiru (薬理学・薬物治療学) 今村武史, 三浦淳一郎, 長田佳子, 市原克則, 澤野達哉 (ゲノム医療学) 中村貴史, 黒崎 創, 中武大夢 (再生医療学) 難波大輔, 土谷博之, 経遠智一, 板場則子
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内	
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる
実務経験 /Work experience /2者択1	有
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	基礎医学研究に携わっている教員が、実験の進め方、手技、データの解釈などを指導する。

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[5/19(月)1時限]【122講義室】	実習説明会／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	実習書は当日出席確認とともに配布する。(復習)配布後は全体を通して目を通し、概要を把握しておくこと	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
2・3[5/27(火)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
4・5[5/28(水)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
6・7[5/29(木)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))

8・9[5/30(金)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
10・11[6/3(火)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
12・13[6/4(水)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
14・15[6/5(木)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))

16・17[6/6(金)3・4時限] 【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
18・19[6/10(火)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
20・21[6/11(水)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
22・23[6/12(木)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))

24・25[6/13(金)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
26・27[6/17(火)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
28・29[6/18(水)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
30・31[6/19(木)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))

32・33[6/20(金)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
34・35[6/24(火)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
36・37[6/25(水)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野、再生医療学 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))
38・39[6/26(木)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野、再生医療学 担当教員／(対面可:対面、対面不可:パターン1遠隔(資料・課題学習))

40・41[6/27(金)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野、再生医療学 担当教員／(対面可:対面、対面不可:ハターン1遠隔(資料・課題学習))
42・43[7/1(火)3・4時限]【機能系、感染生化実習室】	実習内容:日程・実習場所等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。 時限数:34～45時限 ／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)実習書を配布するので、各実習の日程を確認し、実習前までに実習内容が分かるようにしておくこと。 (復習)レポート作成や口頭試問。	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野、再生医療学 担当教員／(対面可:対面、対面不可:ハターン1遠隔(資料・課題学習))
44・45[7/2(水)3・4時限]【131講義室】	発表会／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)発表に備えてパワーポイント作成などの準備を行うこと	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野、再生医療学 担当教員／(対面可:対面、対面不可:ハターン1遠隔(資料・課題学習))
46・47[7/3(木)3・4時限]【131講義室】	発表会／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファターゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)発表に備えてパワーポイント作成などの準備を行うこと	【担当者】統合生理学分野、適応生理学分野、生化学分野、薬理学・薬物療法学分野、ゲノム医療学分野、再生医療学 担当教員／(対面可:対面、対面不可:ハターン1遠隔(資料・課題学習))

48・49[7/4(金)3・4時限]【131 講義室】	発表会／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘 発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファター ゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)発表に備えてパワーポイント 作成などの準備を行うこと	【担当者】統合生理学分野、適応生 理学分野、生化学分野、薬理学・薬 物療法学分野、ゲノム医療学分野、 再生医療学 担当教員／(対面可: 対面、対面不可:ハターン1遠隔(資料・ 課題学習))
50・51[7/8(火)3・4時限]【131 講義室】	発表会／【キーワード】1. 脊髄反射(ヒトの誘 発筋電図) 2. 皮膚感覚(2点弁別閾、温・冷覚など) 3. ヒトの呼吸機能測定、 4. 骨格筋の収縮 5. ウサギの血圧測定、 6. DNAの増幅と切断 7. 酵素のキネティクス(アルカリホスファター ゼ)、 8. 血管張力に対する薬物の作用、 9. 鎮痛薬効力試験 10. PCR法によるウイルス遺伝子の検出	(予習)発表に備えてパワーポイント 作成などの準備を行うこと	【担当者】統合生理学分野、適応生 理学分野、生化学分野、薬理学・薬 物療法学分野、ゲノム医療学分野、 再生医療学 担当教員／(対面可: 対面、対面不可:ハターン1遠隔(資料・ 課題学習))

授業基本情報/Course base infomation			
科目コード /Subject Code	M7208041	ナンバリング /Subject Code	MMANA3301
科目名 /Subject Name	解剖学実習		
英文科目名 /Subject English Name	Practice of Anatomy		
担当教員 /Teacher Name	海藤 俊行,椋田 崇生,岡崎 健治,小山 友香,濱崎 佐和子 ,横田 茂文		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	2	開講時期 /Lectures Target	通年
講義室 /Room		科目区分 /Room	専門科目
曜日・時限 /Week・Hour	他	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form	一般講義	単位数 /Lecture Form	3.5
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			
授業概要情報/Course description			
担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	海藤 俊行(解剖学) 総合研究棟3階 解剖学講座(研究室1)		
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	月曜日1時限		
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	0859-38-6011(解剖学) kaidoh@tottori-u.ac.jp		
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	人体の正常構造に関する知識を修得するとともに、観察された疾患に関する病態の理解に応用するため、人体の系統解剖実習を行う。		
キーワード /Keywords /4000文字以内	頸部、胸部、腹部、鼠径部、臀部、背部、上肢帯、上肢(上腕、前腕、手)、下肢(大腿、下腿、足)、腋窩、胸郭出口部、腕神経叢、肩関節、股関節、膝関節、顔面、縦郭、肺、心臓、腹腔、食道、胃、十二指腸、空腸、回腸、盲腸、虫垂、結腸、直腸、肝臓、脾臓、脾臓、腎臓、横隔膜、大動脈、脊柱、脊髄、鼠径管、会陰、勃起器官、骨盤内臓器、脳硬膜、口腔、鼻腔、甲状腺、咽頭、喉頭、気管、男性・女性泌尿生殖器、肛門、眼窩、眼球、眼球付属器、外耳、中耳、内耳、上顎洞、腰神経叢、仙骨神経叢、肘関節、指節関節、足関節、骨髄		
到達目標 /Objectives /4000文字以内	人体の正常構造に関する知識を修得するとともに、観察された疾患に関する病態の理解に応用できる。		
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内			
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	実習の手引きを配布します。		
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	4人1組で解剖学実習を行う。		

成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	口頭試問及び剖出チェックを4回行う。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	・時間を厳守し、解剖学実習を行う者として常識ある態度をとること。 ・解剖学実習は学生4人で行う共同作業であるので、正当な理由なくして休むことは許されない。 ・シラバスは、実習の進行状況に応じて適宜変更することがある。 ・9/16(火)は、オリエンテーションとして最初に実習の注意事項を説明するので、総合教育棟4Fの組織系実習室に集合すること。 ・令和8年春に解剖体慰霊祭が予定されているので、全員が出席すること。 ・レポートでは、実習の進捗状況や解剖所見をまとめるとともに、ピア評価を実施する。 ・連携実習については、暫定的な日程を示している。	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内		
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	研究医がその経験を生かして、解剖学実習の指導を行う。	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1[9/16(火)3・4時限] 【組織系実習室集合】	(頭側・尾側担当者) オリエンテーション 体表観察、胸部、頸部の剥皮／【キーワード】体表、真皮、皮下組織、カンパー筋膜、胸腹部の皮静脈、乳腺	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
2[9/17(水)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側・尾側担当者) 胸部、頸部の剥皮／【キーワード】広頸筋/デルマトーム、脊髄神経前枝(前・外側皮枝)、胸腹部浅層	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
3[9/18(木)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 頸部(浅層)の観察 (尾側担当者) 鼠径部表層の解剖／【キーワード】頸部浅層の静脈・神経、頸動脈三角、頸筋膜、胸鎖乳突筋、頸部リンパ節/浅鼠径輪、スカルパ筋膜	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
4[9/19(金)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 頸部(深層)の観察(レポート1) (尾側担当者) 大腿部の剥皮(レポート1)／【キーワード】舌骨下筋群、内頸静脈、総頸動脈/伏在裂孔、大腿の皮神経・皮静脈、浅鼠径リンパ節	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
5[9/22(月)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 頸部(深層)の観察 (尾側担当者) 下腿・足背・上肢の剥皮／【キーワード】頸神経叢、頸神経ワナ、頸部リンパ節/上肢と下肢の皮神経・皮静脈	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
6[9/24(水)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 上肢・下肢(後面)の剥皮 (尾側担当者) 殿部の剥皮／【キーワード】上肢と下肢の皮神経・皮静脈/上・中・下殿皮神経、大殿筋	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
7[9/25(木)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 背部の剥皮 (尾側担当者) 殿部深層／【キーワード】背部浅層の神経、脊髄神経後枝/大・中・小殿筋	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)

8[9/26(金)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 背部の筋(レポート2) (尾側担当者) 殿部深層と大腿屈側(レポート2)／【キーワード】僧帽筋、広背筋、前鋸筋/大坐骨孔、梨状筋、仙骨神経叢の分枝、坐骨神経、大腿二頭筋	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
9[9/29(月)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 浅胸筋(第1回口頭試問) (尾側担当者) 大腿伸側(第1回口頭試問)／【キーワード】大・小胸筋、鎖骨/大腿三角、大腿四頭筋、大腿動脈、大腿管、内転筋管	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
10[9/30(火)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 腋窩 (尾側担当者) 大腿伸側／【キーワード】腋窩リンパ節、腋窩動脈・静脈/大腿深動脈、内転筋群	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
11[10/1(水)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 胸郭出口部 (尾側担当者) 下腿前面／【キーワード】静脈角、鎖骨下動脈・腋窩動脈の分枝、前斜角筋/浅・深腓骨神経、下腿伸筋群	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
12[10/2(木)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 腕神経叢 (尾側担当者) 足背／【キーワード】神経幹と神経束、筋皮・腋窩・橈骨・正中・尺骨神経/下腿伸筋群の腱、足背の筋、足背動脈	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
13[10/3(金)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 上肢帯と筋(レポート3) (尾側担当者) 大腿の屈側、膝窩と下腿後面(レポート3)／【キーワード】三角筋、内側・外側腋窩隙/半腱様筋、半膜様筋、坐骨神経、下腿三頭筋、膝窩動脈、足根管	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
14[10/6(月)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 上腕屈側の筋 (尾側担当者) 膝関節／【キーワード】筋間中隔、上腕二頭筋、上腕動脈/側副靱帯、十字靱帯、半月、変形性膝関節症	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
15[10/7(火)3・4時限]【解剖学実習室】	(頭側担当者) 上腕伸側の筋、手首と手掌の剥皮 (尾側担当者) 股関節／【キーワード】上腕三頭筋、橈骨神経、手掌腱膜、屈筋支帯/股関節の靱帯、関節包、寛骨臼、大腿骨頭	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)

16[10/8(水)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 前腕屈側の筋 (尾側担当者) 肩関節／【キーワード】前腕の屈筋群・血管・神経/回旋筋腱板、肩関節の関節包・関節窩・関節唇、肩関節脱臼、肩関節周囲炎	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
17[10/9(木)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 前腕伸側の筋 (尾側担当者) 足底／【キーワード】伸筋支帯と前腕伸筋群/足底腱膜、足底の筋	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
18[10/10(金)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 顔面の剥皮(第2回口頭試問)(レポート4) (尾側担当者) 手(第2回口頭試問)(レポート4)／【キーワード】表情筋、顔面動脈/腱鞘、母指球の筋、正中神経	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
19[10/14(火)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 顔面の筋 (尾側担当者) 手／【キーワード】三叉神経と顔面神経、耳下腺/小指球の筋、尺骨神経、浅掌・深掌動脈弓、虫様筋、骨間筋	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
20[10/15(水)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 前胸壁の除去 (尾側担当者) 腹部の筋、腹腔／【キーワード】肋間筋、肋間神経・動脈・静脈、壁側胸膜、胸腺/腹直筋、外・内腹斜筋、腹横筋、腹壁・鼠径ヘルニア	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
21[10/16(木)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 縦隔と胸膜 (尾側担当者) 腹腔／【キーワード】縦隔、甲状腺の血管、腕頭静脈、胸膜、心膜、横隔神経/腹膜の構造、正中・内側・外側膈ヒダ、消化器の発生、大網、小網、腸間膜、腹部内臓の位置、胃、小腸、結腸、肝臓、腹腔ドレーン留置部位	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
22[10/17(金)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 胸部内臓摘出(レポート5) (尾側担当者) 腹腔(レポート5)／【キーワード】気管支動脈、反回神経、大動脈弓/上腸間膜動脈、下腸間膜動脈、腹腔動脈、門脈、食道、腹部の神経叢 (リ)ハビリテーション連携実習)	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)

23[10/20(月)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 胸部内臓摘出、後部縦隔 (尾側担当者) 腹腔／【キーワード】心臓の自律神経、星状神経節、食道、胸大動脈、奇静脈、胸管/肝臓、肝区域、胆嚢、胃と動脈・リンパ節	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
24[10/22(水)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 後部縦隔 (尾側担当者) 腹腔／【キーワード】迷走神経、交感神経幹/十二指腸、膵臓、総胆管、膵管、脾臓、下部消化管、空腸、回腸、回盲部、虫垂、結腸	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
25[10/23(木)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 肺 (尾側担当者) 腹膜後器官／【キーワード】肺胸膜、胸膜腔、気管、気管支、肺葉、肺区域、肺根、気管支異物/腎臓の被膜、腎臓、腎門、副腎	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
26[10/24(金)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 心臓(レポート6) (尾側担当者) 腹膜後器官(レポート6)／【キーワード】心臓の外観、心膜、心尖、心底、心房、心耳、心室、冠状動脈、冠状静脈/腹大動脈、精巣・卵巣動脈、総腸骨動脈、胸管心臓の外観/腹大動脈、胸管の走向 (保健学科連携実習)	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
27[10/27(月)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 心臓 (尾側担当者) 横隔膜／【キーワード】心臓の内景、右心房、右心室、左心房、左心室、心房中隔、心室中隔、動脈弁と房室弁、線維三角、刺激伝道系/横隔膜 (リハビリテーション連携実習)	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
28[10/29(水)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側・尾側担当者) 脊柱と脊髄／【キーワード】固有背筋、脊柱起立筋、脊柱、脊髄髄膜(硬膜、クモ膜、クモ膜下腔、軟膜)、脊髄神経節、頸・腰膨大、馬尾	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
29[10/30(木)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側・尾側担当者) 頭部の切り離し作業、脊髄／【キーワード】椎骨動脈、蓋膜、環椎十字靱帯、脊髄(前索、側索、後索、前角、側角、後角)	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)

30[10/31(金)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 舌骨上筋群と咽頭(第3回口頭試問)(レポート7) (尾側担当者) 鼠径管と会陰(第3回口頭試問)(レポート7)／【キーワード】顎下三角、オトガイ下部、舌骨上筋群、舌下神経、咽頭収縮筋、咽頭鼻部・口部・喉頭部、嚥下、舌根、扁桃/深鼠径輪、鼠径管、鼠径輪、鼠径ヘルニア、外陰部、陰囊、大陰唇	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
31[11/5(水)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 甲状腺、気管と喉頭 (尾側担当者) 会陰／【キーワード】甲状腺、上皮小体、喉頭の軟骨と筋、声帯/会陰の筋、外肛門括約筋	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
32[11/6(木)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 頭蓋内面と頭部の正中断、口腔 (尾側担当者) 骨盤下部臓器、勃起器官／【キーワード】脳硬膜、大脳鎌、小脳テント、硬膜静脈洞、頭蓋窩、下垂体、脳神経、舌、舌乳頭/前立腺、陰、陰茎・陰核と海綿体、尿道	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
33[11/7(金)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 口腔、鼻腔と鼻中隔(レポート8) (尾側担当者) 骨盤内臓器の観察と取り出し(レポート8)／【キーワード】顎下腺、舌下腺、舌神経、鼻中隔、鼻甲介、膀胱、直腸、子宮、ダグラス窩、子宮広間膜、骨盤神経叢	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
34[11/10(月)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 鼻腔と咽頭鼻部、顔面深層 (尾側担当者) 男性・女性泌尿生殖器、直腸と肛門／【キーワード】鼻腔の動脈、耳管咽頭口、咀嚼筋、下顎骨、下顎管/膀胱、男性生殖器(精巣、精管)、女性生殖器(卵管、卵巢、子宮)、直腸膨大部、肛門管、齒状線	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
35[11/12(水)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 顔面深層 (尾側担当者) 後腹壁／【キーワード】顎関節、側頭筋、側頭下窩、顎動脈、舌神経、大・小口蓋神経、翼口蓋神経節/腸腰筋、腰神経叢	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
36[11/13(木)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 眼球付属器 (尾側担当者) 体幹と骨盤の半切／【キーワード】眼瞼、結膜、涙腺、涙囊、鼻涙管/椎間円板、変形性脊椎症、内腸骨動脈の枝、陰部神経管	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)

37[11/14(金)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 眼窩と眼球、聴覚器(レポート9) (尾側担当者) 仙骨神経叢、肘関節(レポート9)／【キーワード】外眼筋と支配神経、視神経、眼動脈の枝、毛様体神経節、鼓膜、鼓室、耳小骨／仙骨神経叢、肘関節の内側・外側側副靱帯、橈骨輪状靱帯	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
38[11/17(月)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 眼窩と眼球、内耳 (尾側担当者) 足関節／【キーワード】眼球(水晶体など)、内耳(半規管、蝸牛管)、耳介/内腸骨動脈、足関節の内側・外側靱帯、ショパール・リスフラン関節	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
39[11/19(水)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側担当者) 上顎洞(第4回口頭試問) (尾側担当者) 骨髄、指節関節(第4回口頭試問)／【キーワード】上顎洞/黄色・赤色骨髄、指節関節の靱帯	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)
40[11/20(木)3・4時限] 【解剖学実習室】	(頭側・尾側担当者) まとめ、清掃・納骨(レポート10、最終レポート)／【キーワード】感謝・畏敬の念	〈予習〉左記の実習内容の範囲について実習の手引きを熟読し、速やかに実習ができるよう準備しておくこと。 〈復習〉実習で剖出した所見をまとめ、理解を深めること。 ※毎週末にmanabaでレポートを提出すること。	【担当者】解剖学講座教員／(対面可:対面、対面不可:延期)